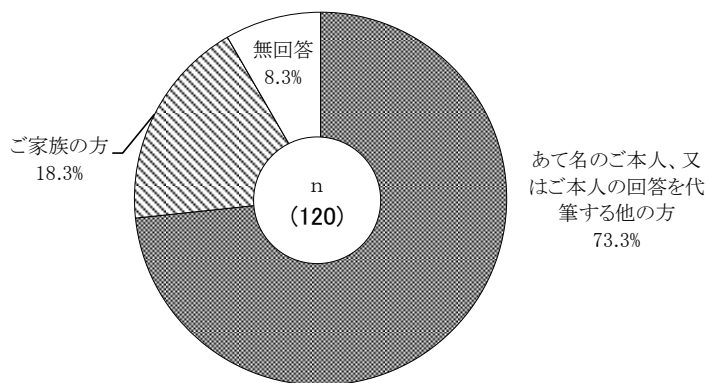


IV 発達障害のある方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」が73.3%、「ご家族の方」が18.3%となっています。

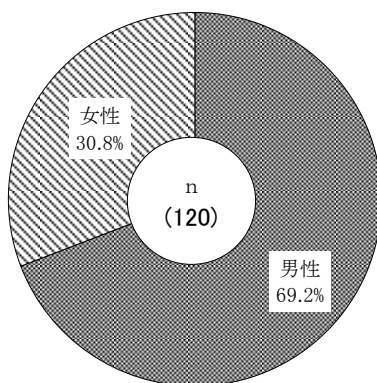


1. 本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

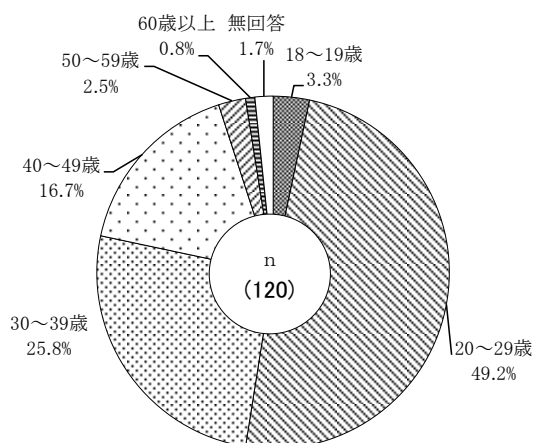
「男性」が69.2%、「女性」が30.8%となっています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

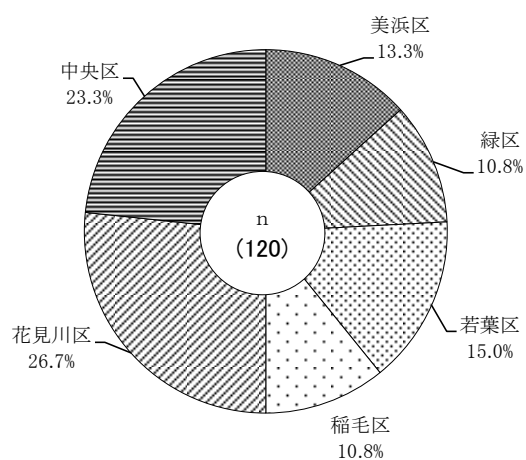
「20～29歳」が49.2%で最も多く、以下「30～39歳」が25.8%、「40～49歳」が16.7%となっています。



(3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

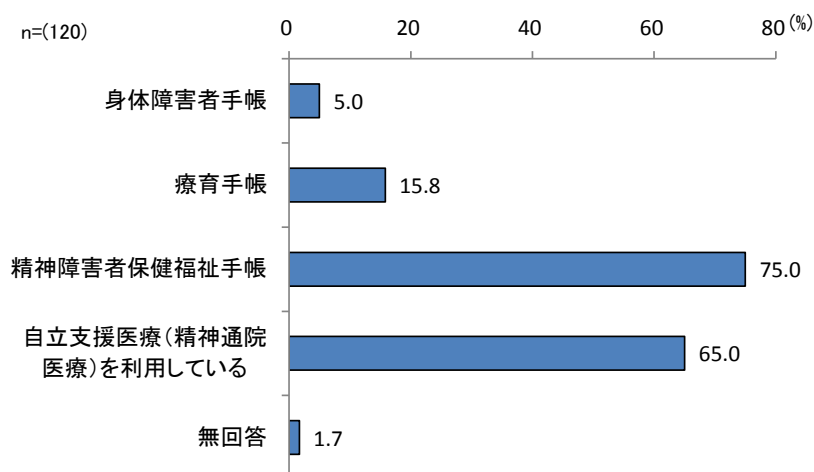
「花見川区」が26.7%で最も多く、以下「中央区」が23.3%、「若葉区」が15.0%となっています。



(4) 障害の種別

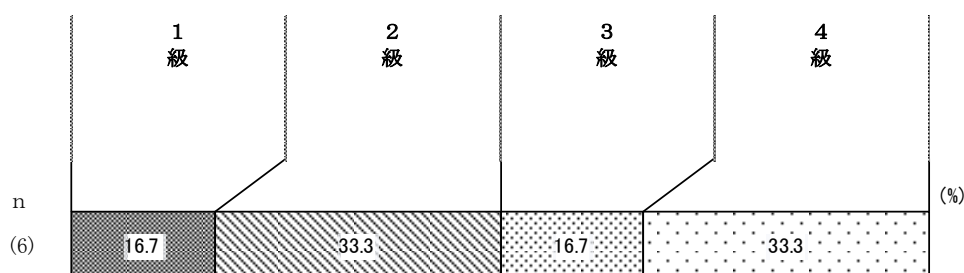
問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

「精神障害者保健福祉手帳」が75.0%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が65.0%となっています。



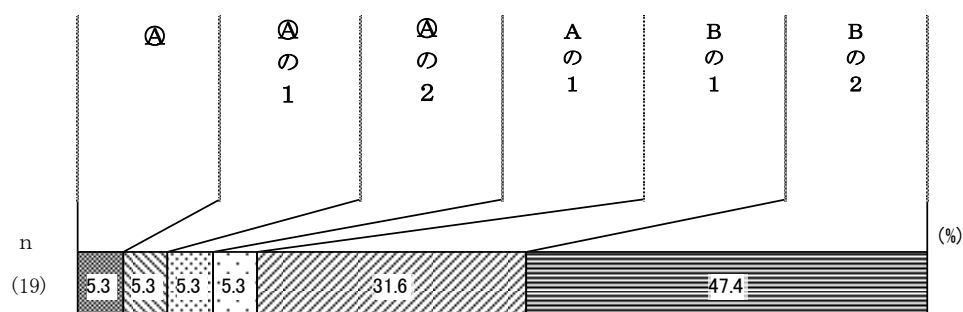
①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「2級」、「4級」が33.3%となっています。



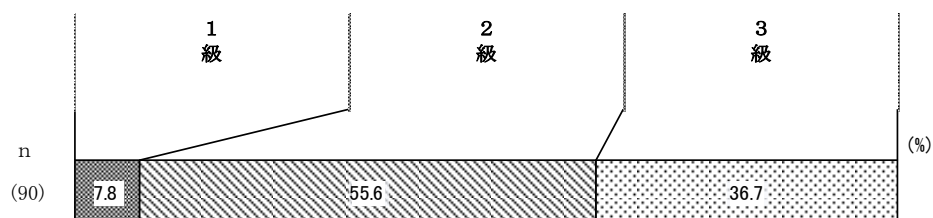
②療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの2」が47.4%で最も多く、次いで「Bの1」が31.6%となっています。



③精神障害者保健福祉手帳の等級

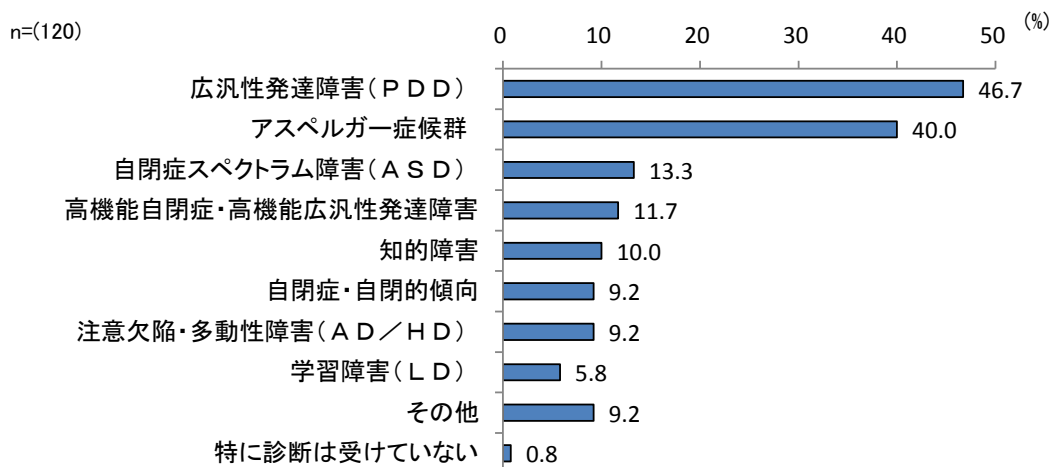
精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2級」が55.6%で最も多く、次いで「3級」が36.7%となっています。



(5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「広汎性発達障害(PDD)」が46.7%で最も多く、次いで「アスペルガー症候群」が40.0%となっています。



(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

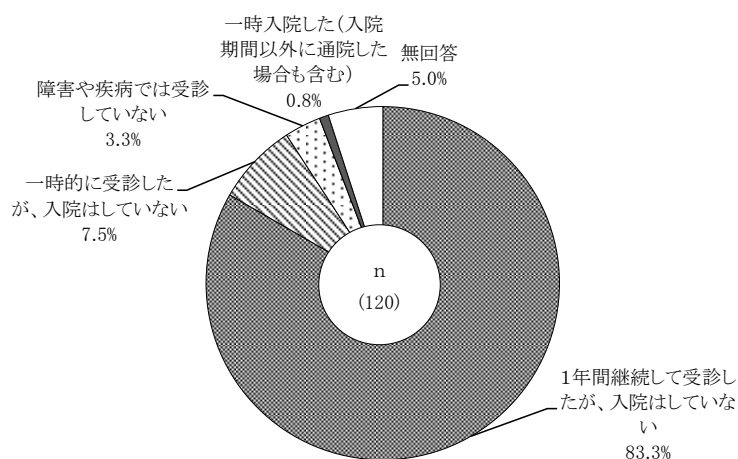
「国の指定する特定疾患」の方が1名です。(クローン病)

2. 医療機関への受診状況について

(1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

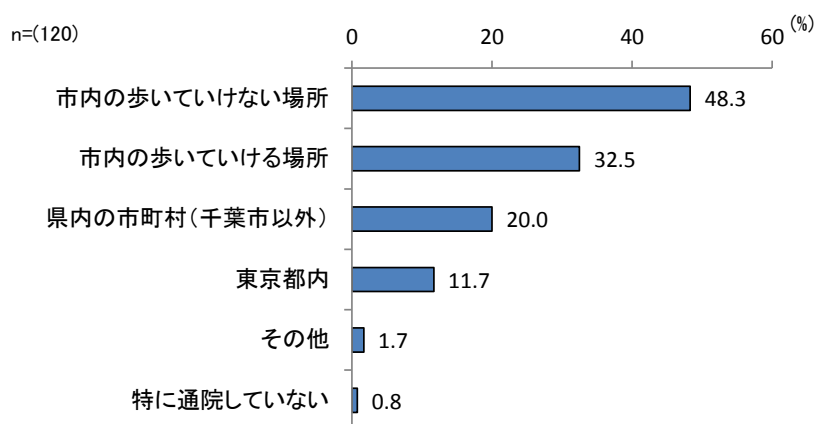
「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が83.3%で最も多くなっています。



(2) 通院先の所在地

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(○はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が48.3%で最も多く、次いで「市内の歩いていける場所」が32.5%となっています。

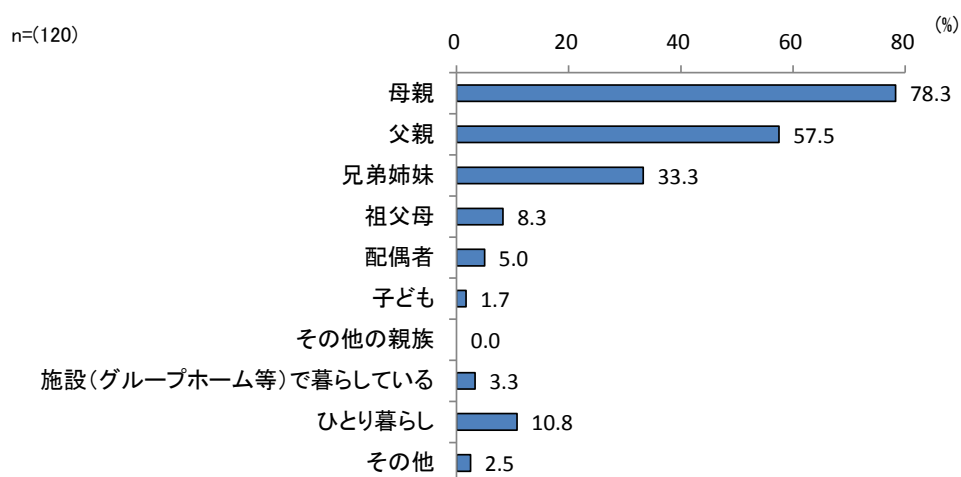


3. 家族や介助者について

(1) 同居者

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

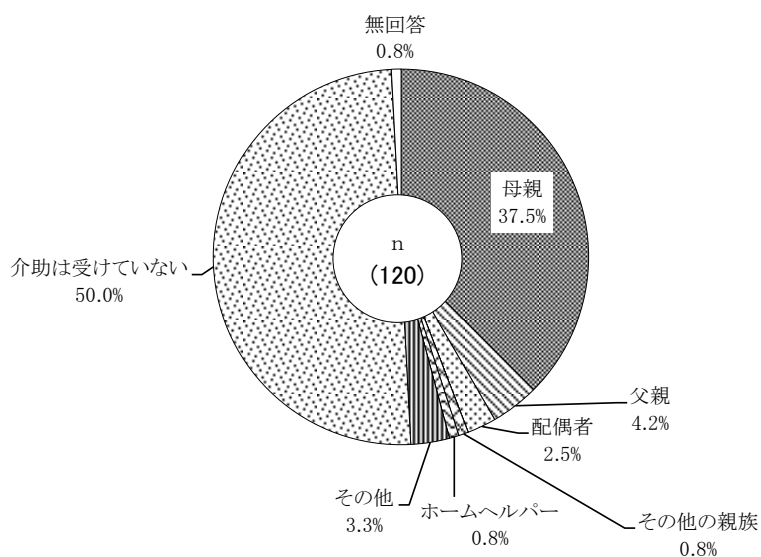
「母親」が78.3%で最も多く、以下「父親」が57.5%、「兄弟姉妹」が33.3%となっています。



(2) 主な介助者

問10 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

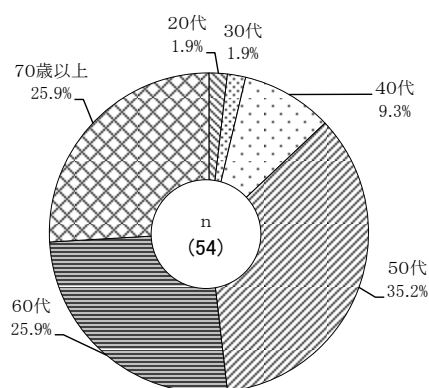
主な介助者では「母親」が37.5%で最も多くなっています。



(3) 主な介助者の年齢

問 11 【問 10 で主な介助者が家族・親族（1～7 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

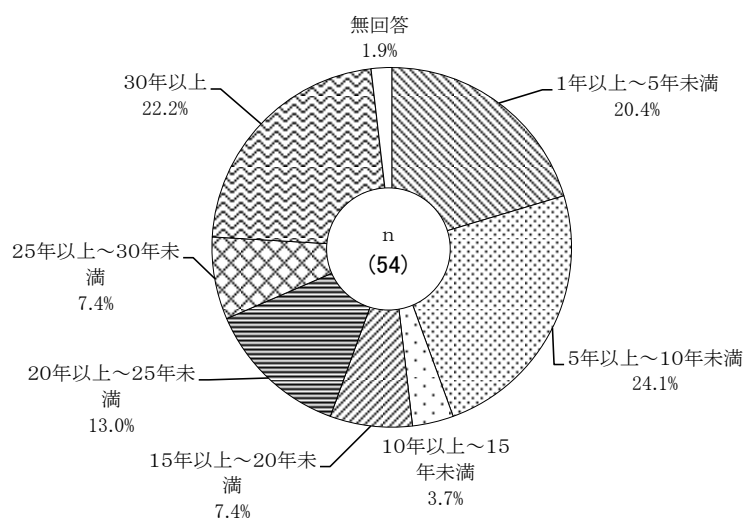
「50代」が35.2%で最も多く、以下「60代」、「70歳以上」が25.9%となっています。



(4) 主な介助者の介助継続年数

問 12 【問 10 で主な介助者が家族・親族（1～7 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

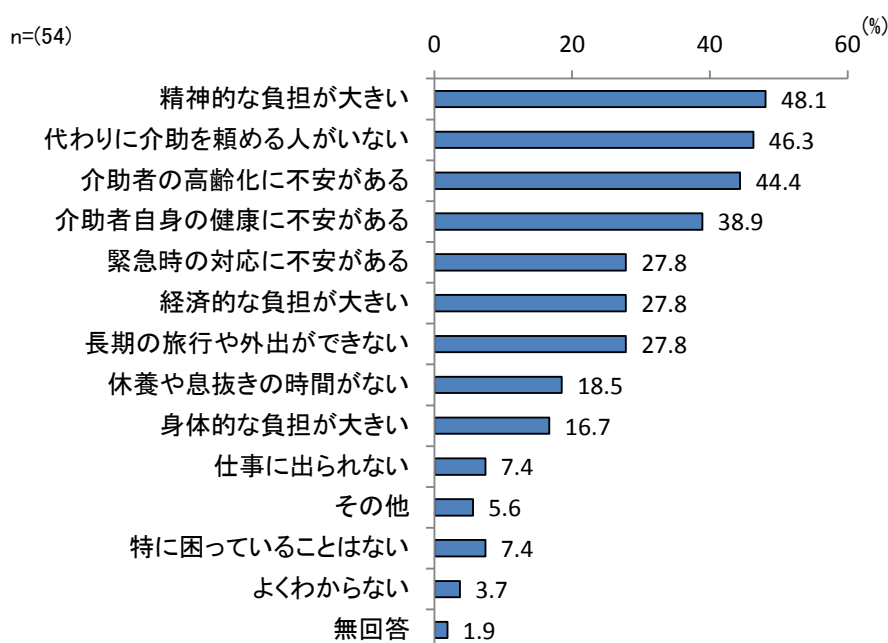
「5年以上～10年未満」が24.1%で最も多く、以下「30年以上」が22.2%、「1年以上～5年未満」が20.4%となっています。



(5) 主な介護者が困っていること

問 13 【問 10 で主な介護者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「精神的な負担が大きい」が 48.1%、「代わりに介護を頼める人がいない」が 46.3%、「介護者の高齢化に不安がある」が 44.4%と、いずれも 4 割を超えています。また、「介護者自身の健康に不安がある」も 38.9%と多くなっています。

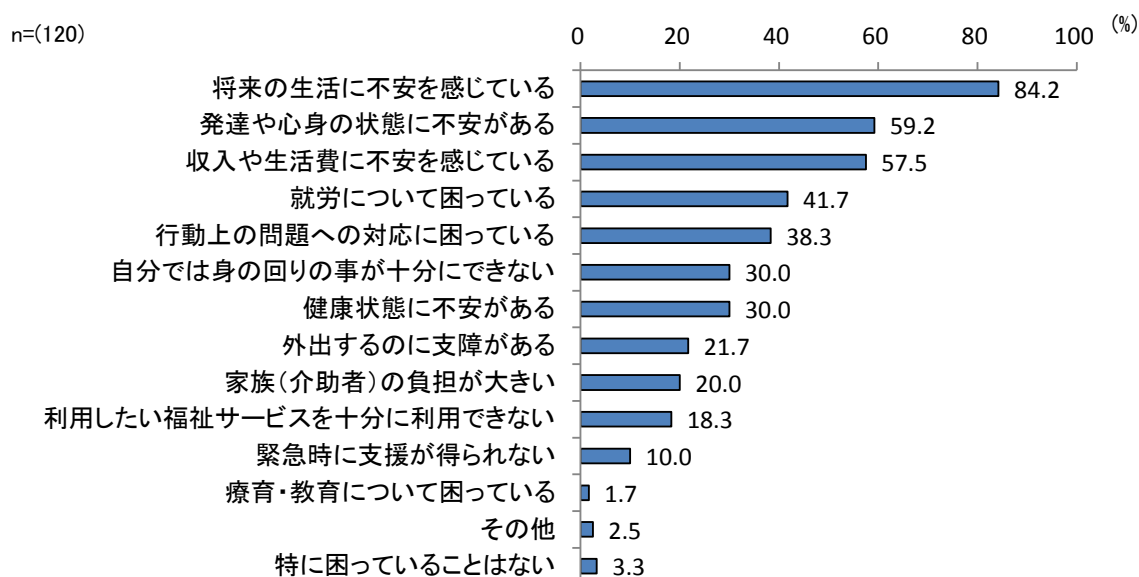


4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 14 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

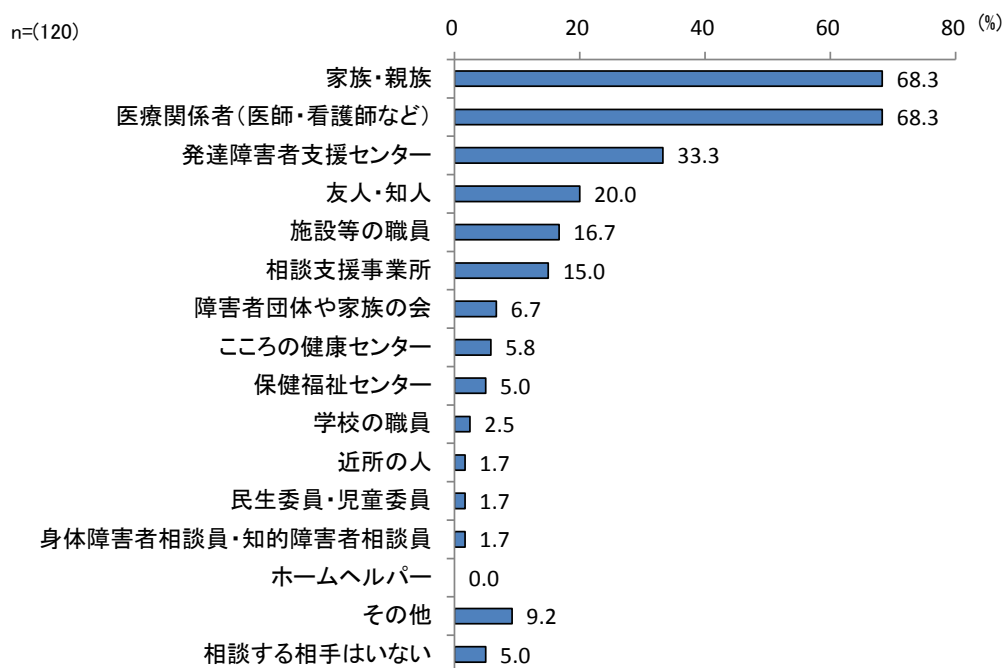
「将来の生活に不安を感じている」が 84.2%で最も多く、以下「発達や心身の状態に不安がある」が 59.2%、「収入や生活費に不安を感じている」が 57.5%、「就労について困っている」が 41.7%となっています。



(2) 困った時の相談先

問 15 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

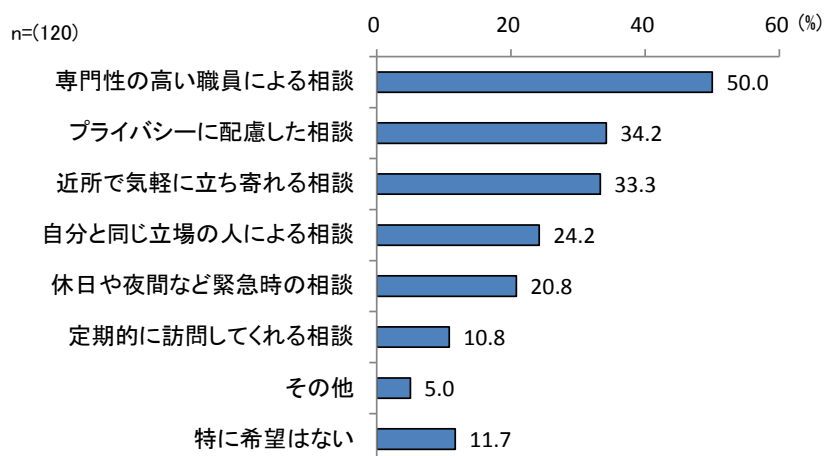
「家族・親族」、「医療関係者（医師・看護師など）」が 68.3%で最も多く、次いで「発達障害者支援センター」が 33.3%となっています。



(3) 希望する相談制度

問 16 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。
（〇はいくつでも）

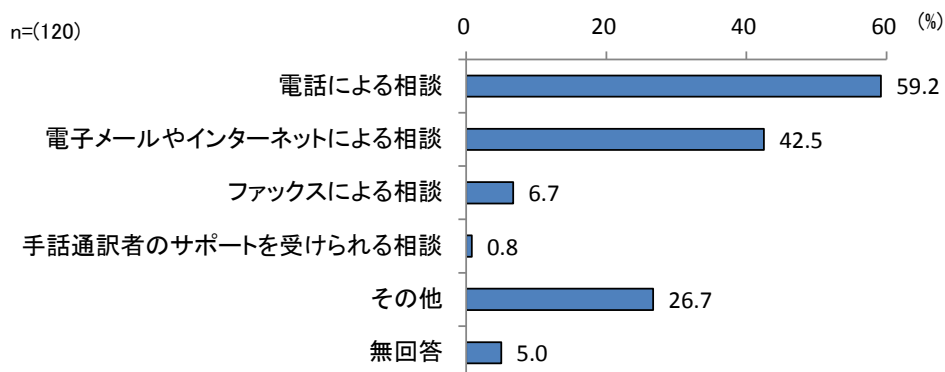
「専門性の高い職員による相談」が50.0%で最も多く、以下「プライバシーに配慮した相談」が34.2%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が33.3%となっています。



(4) 相談しやすい方法

問 17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。
（〇はいくつでも）

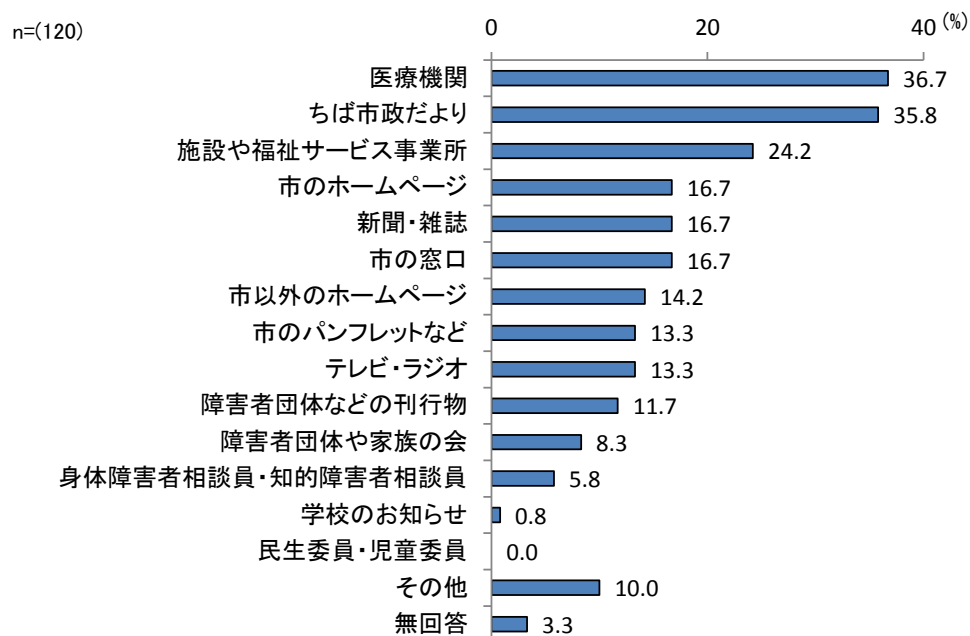
「電話による相談」が59.2%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が42.5%となっています。



（５）福祉情報の入手先

問 18 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。
（〇はいくつでも）

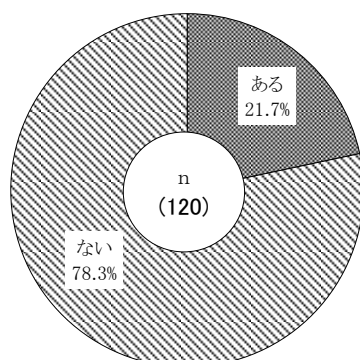
「医療機関」が 36.7%、「ちば市政だより」が 35.8%と、いずれも3割を超えています。また、「施設や福祉サービス事業所」も 24.2%と多くなっています。



（６）商品購入やサービス利用におけるトラブルの経験

問 19 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。（〇は1つ）

「ある」が 21.7%、「ない」が 78.3%となっています。

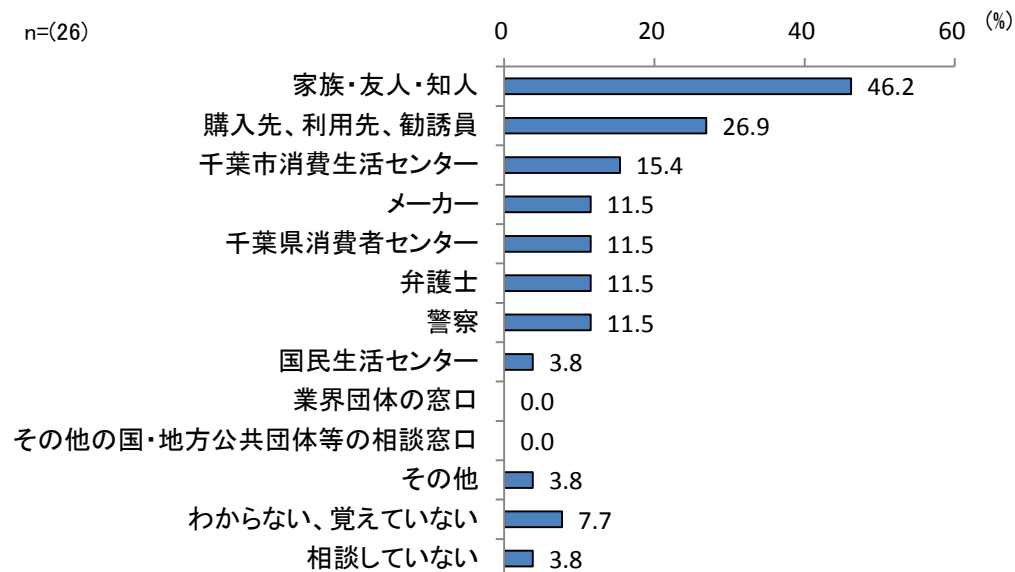


(7) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの相談先

問 20 【問 19 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（○はいくつでも）

「家族・友人・知人」が 46.2% で最も多く、以下「購入先、利用先、勧誘員」が 26.9%、「千葉市消費生活センター」が 15.4% となっています。

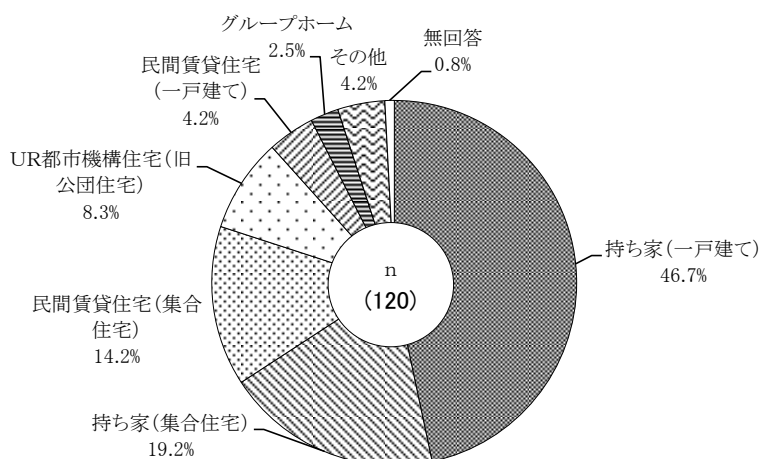


5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問 21 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

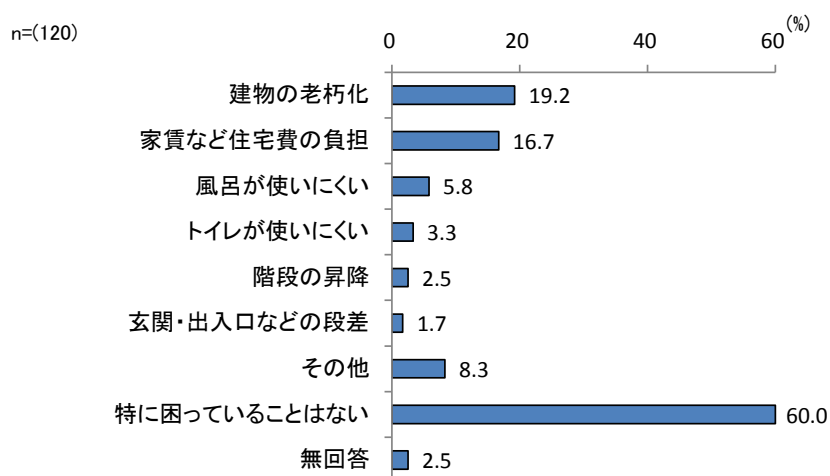
「持ち家(一戸建て)」が 46.7%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が 19.2% となっています。



(2) 住まいについて困っていること

問 22 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

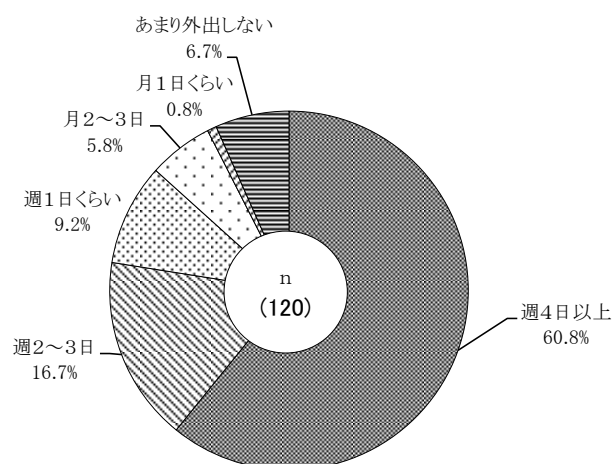
住まいについて困っていることについては「建物の老朽化」が 19.2%で最も多く、次いで「家賃など住居費の負担」が 16.7% となっています。



(3) 外出の頻度

問 23 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

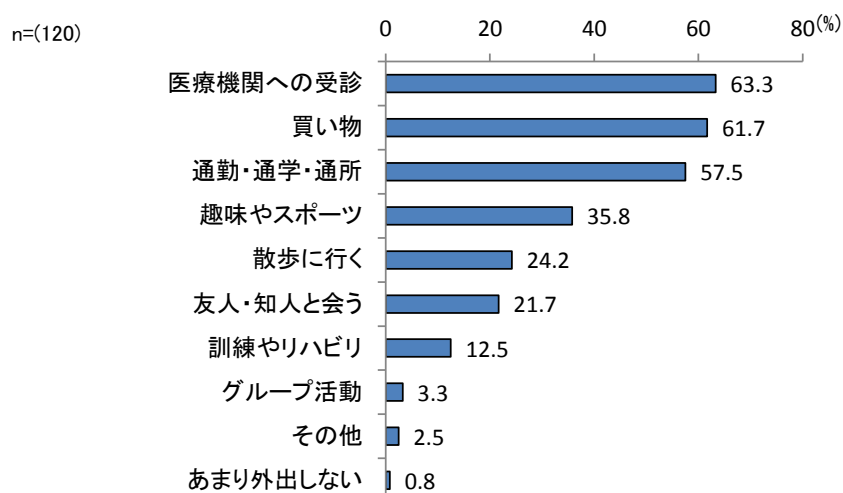
「週4日以上」が60.8%で最も多く、次いで「週2～3日」が16.7%となっています。



(4) 外出の目的

問 24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

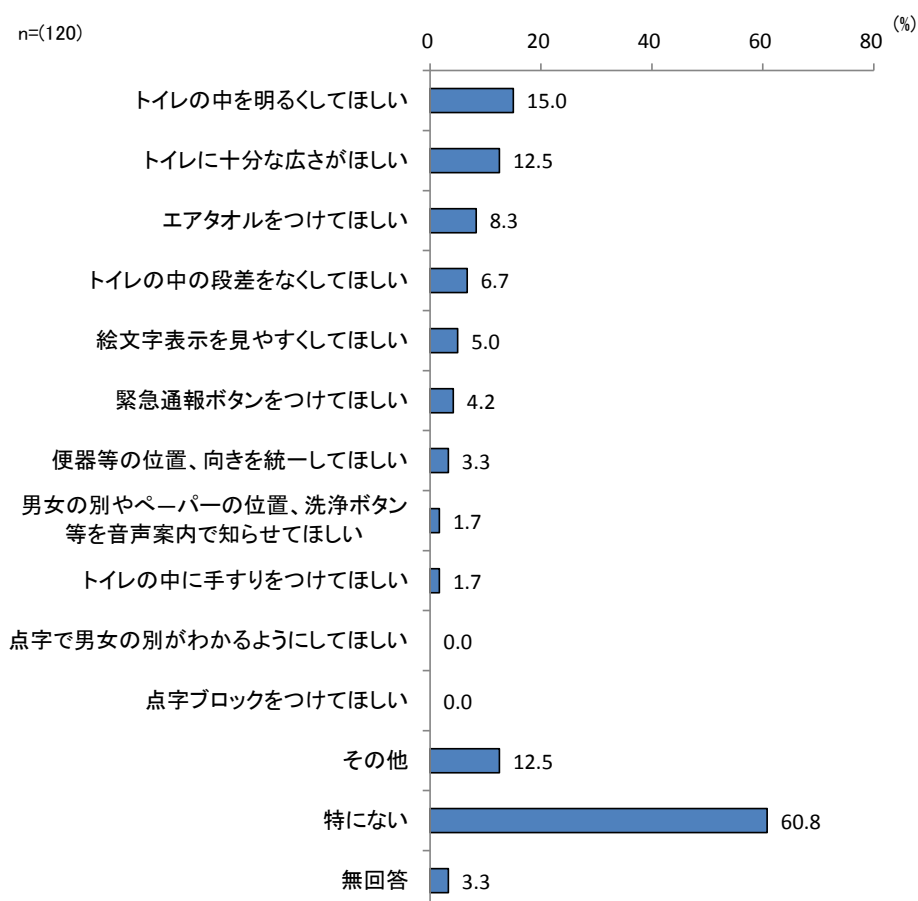
「医療機関への受診」が63.3%、「買い物」が61.7%、「通勤・通学・通所」が57.5%と、いずれも6割前後を占めています。



(5) 外出先のトイレに望むこと

問 25 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

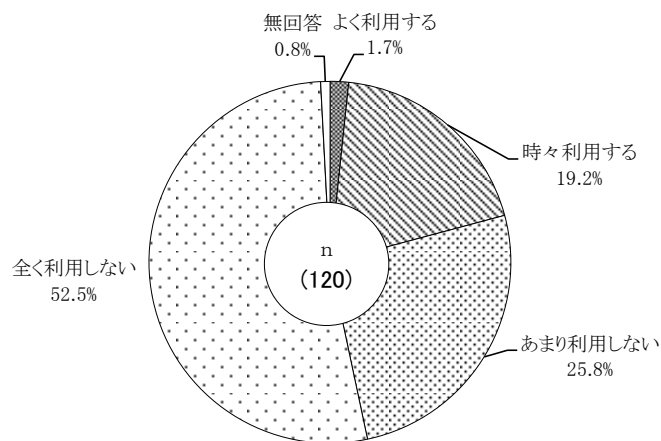
外出先のトイレに望むことについては、「トイレの中を明るくしてほしい」が 15.0%、「トイレに十分な広さがほしい」が 12.5%となっています。



(6) 公園の利用状況

問 26 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

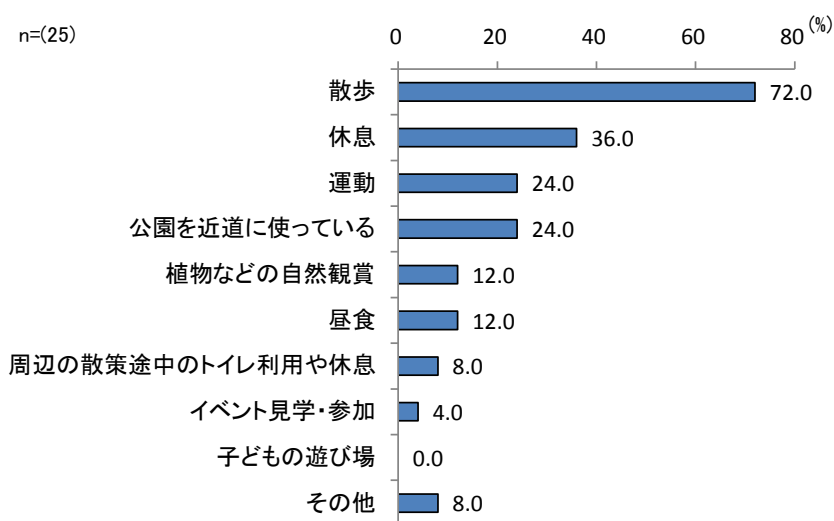
「よく利用する」が 1.7%、「時々利用する」が 19.2%となっています。



(7) 公園の利用目的

問 27 問 26 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

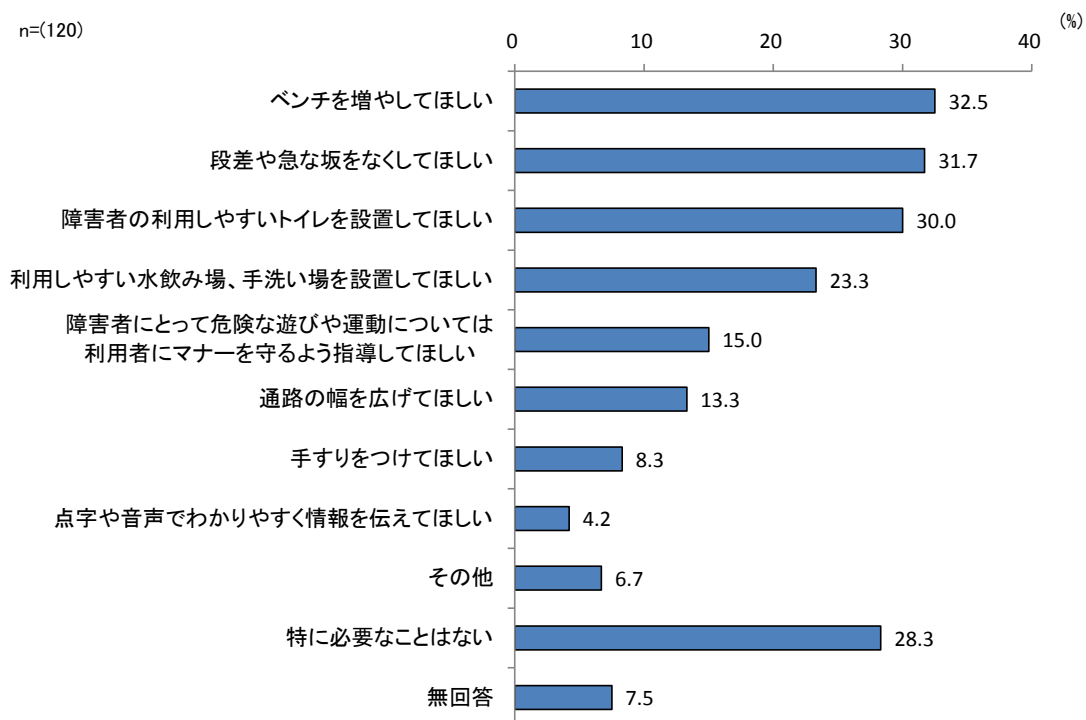
「散歩」が 72.0%で最も多く、以下「休息」が 36.0%、「運動」、「公園を近道に使っている」が 24.0%となっています。



(8) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 28 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「ベンチを増やしてほしい」が32.5%、「段差や急な坂をなくしてほしい」が31.7%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が30.0%と、いずれも3割を超えています。

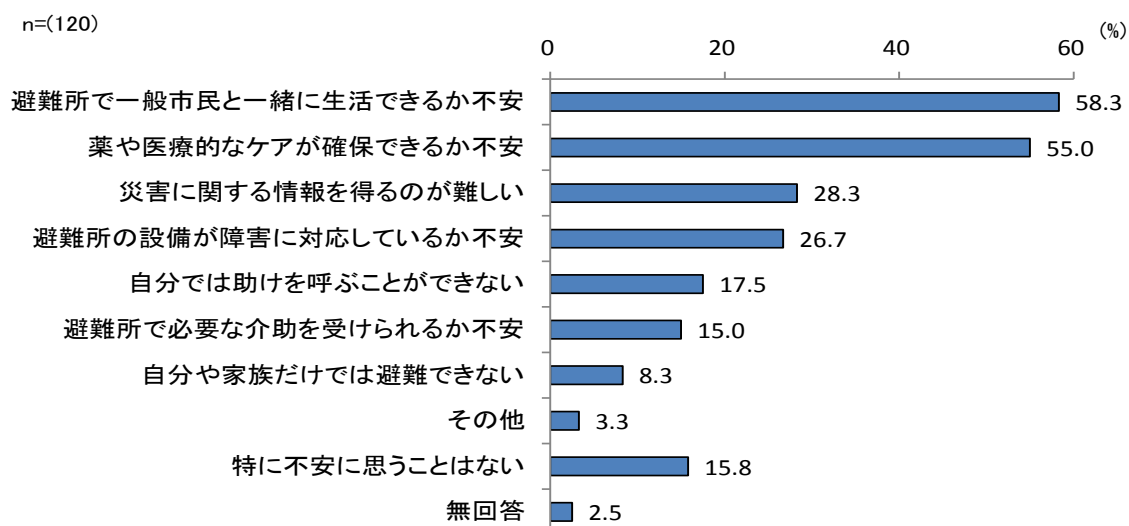


6. 災害対策について

(1) 災害時に不安に思うこと

問 29 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。
(○はいくつでも)

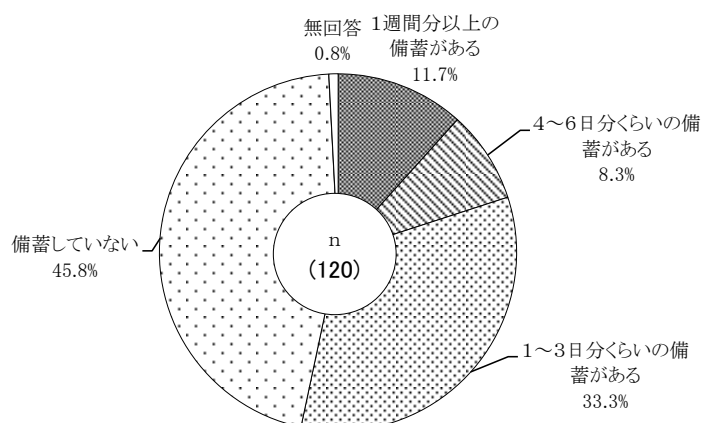
「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が58.3%、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が55.0%で、いずれも5割を超えています。



(2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 30 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

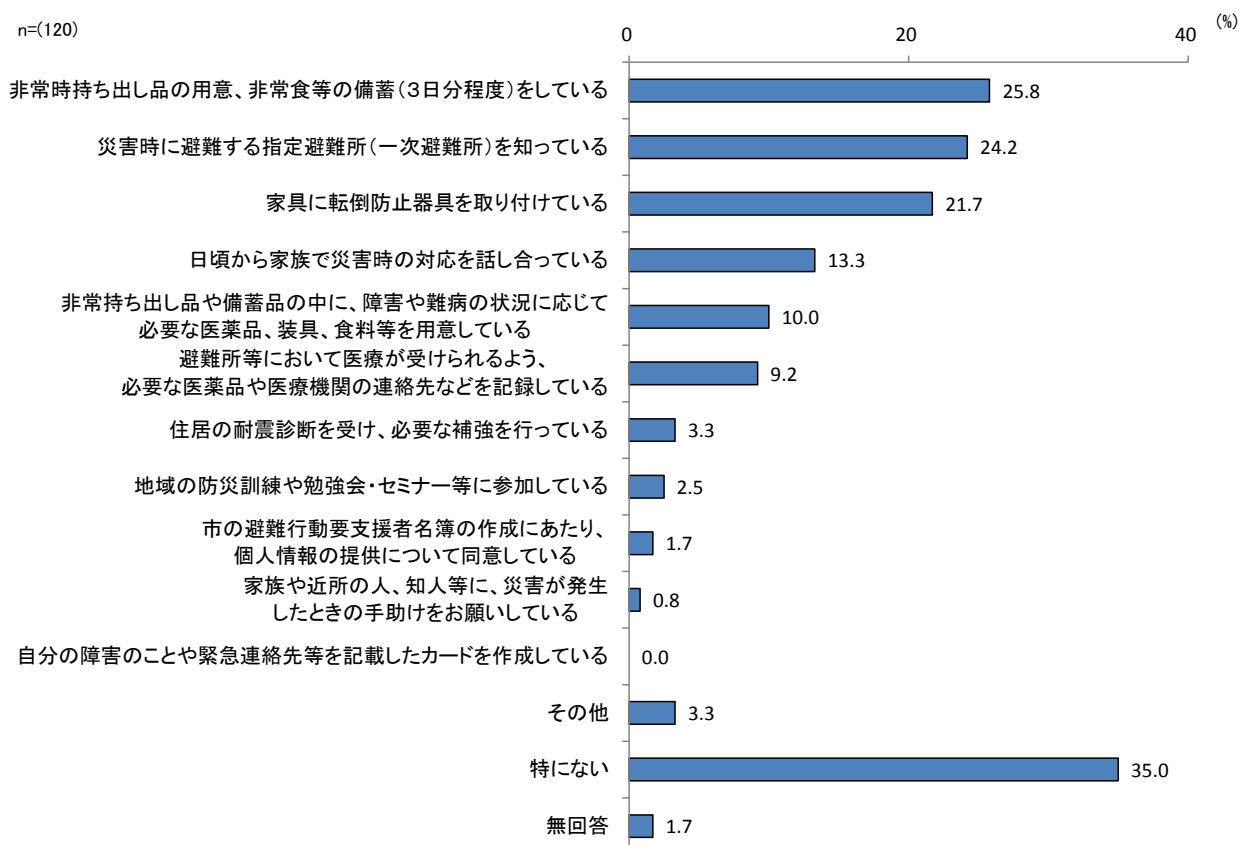
「1～3日分くらいの備蓄がある」が33.3%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が11.7%となっています。一方、「備蓄していない」は45.8%となっています。



(3) 災害に対する備え

問 31 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

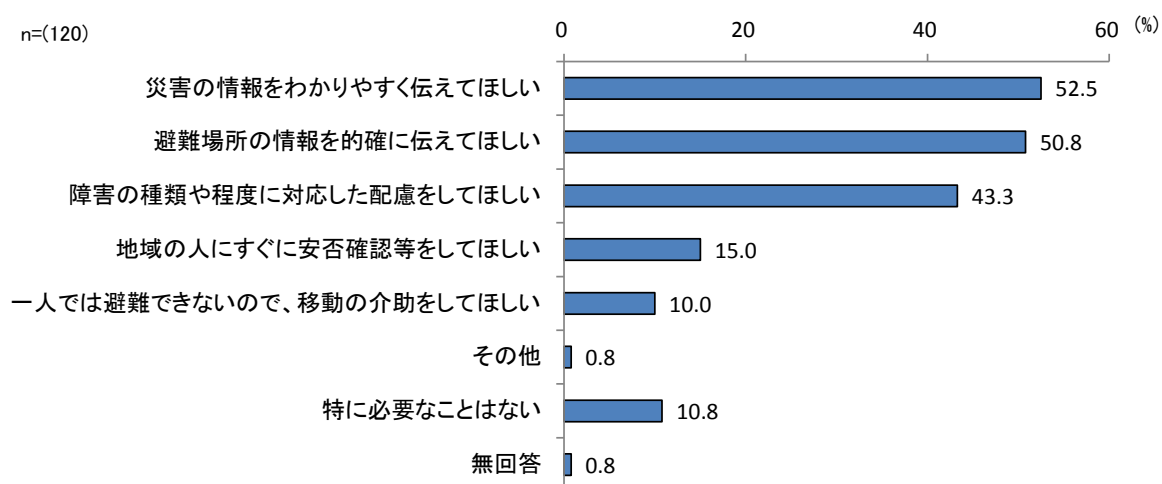
「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が25.8%「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」が24.2%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が21.7%と、いずれも2割を超えています。



(4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 32 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が 52.5%、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 50.8%と、いずれも5割を超えています。また、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」も 43.3%と多くなっています。

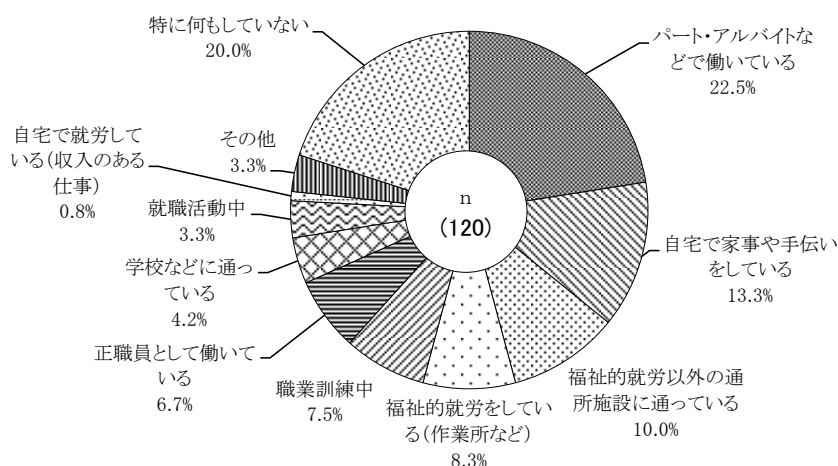


7. 日中活動・就労について

(1) 日中の過ごし方

問 33 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

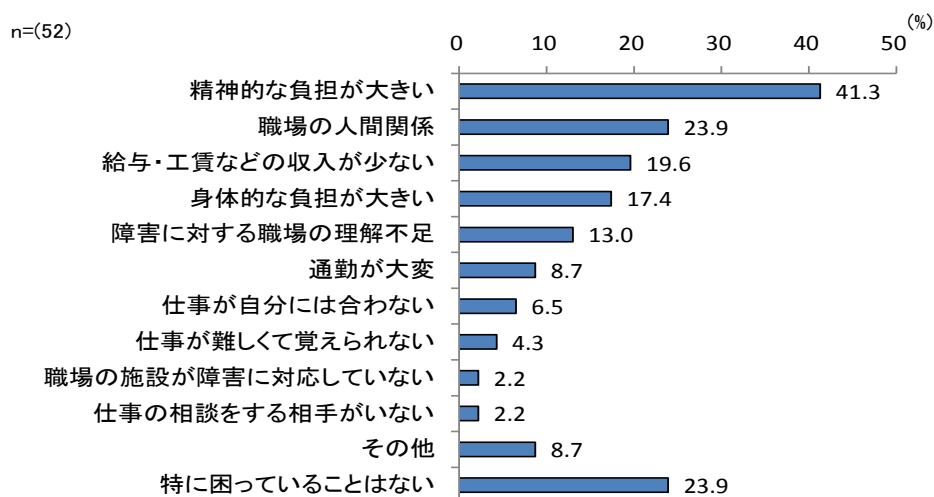
「パート・アルバイトなどで働いている」が 22.5%で最も多く、以下「自宅で家事や手伝いをしている」が 13.3%、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が 10.0%となっています。



(2) 仕事上で困っていること

問 34 【問 33 で働いている(1～4番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。(○は3つまで)

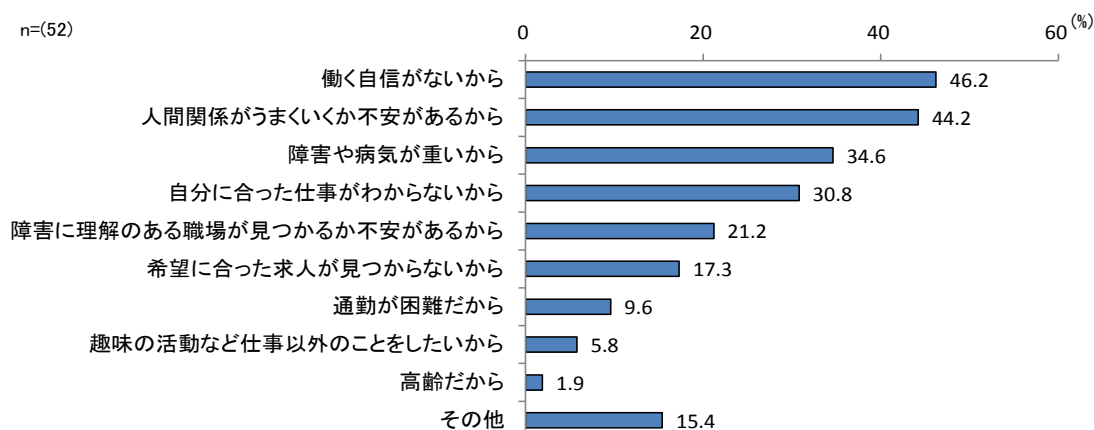
「精神的な負担が大きい」が 41.3%で最も多く、以下「職場の人間関係」が 23.9%、「給与・工賃などの収入が少ない」が 19.6%となっています。



(3) 働いていない理由

問 35 【問 33 で働いていない（5～7番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由は何ですか。（○は3つまで）

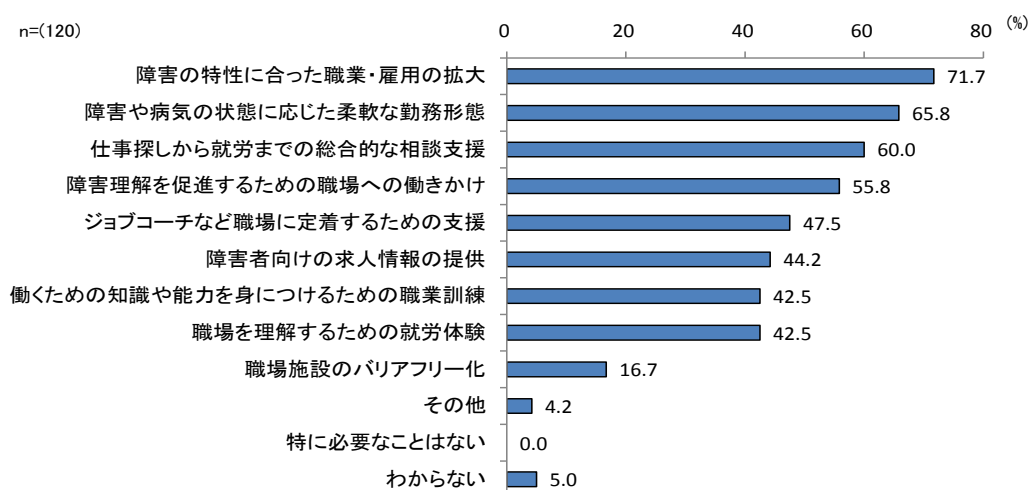
「働く自信がないから」が 46.2%、「人間関係がうまくいか不安があるから」が 44.2%と、いずれも4割を超えています。また、「障害や病気が重いから」も 34.6%と多くなっています。



(4) 一般就労のために必要な支援

問 36 【すべての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

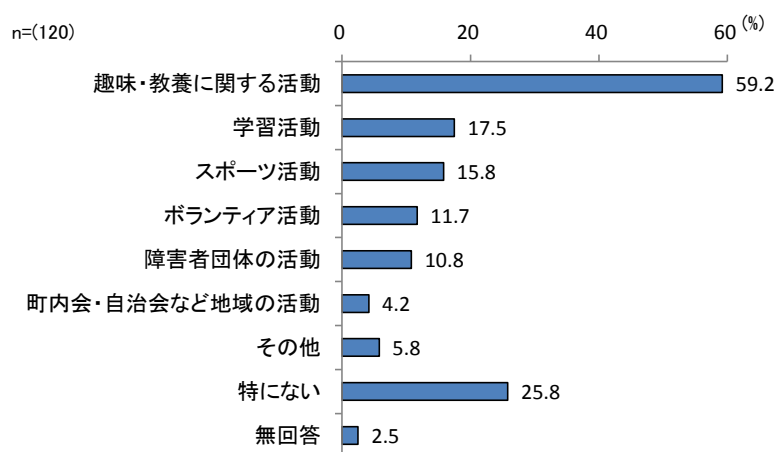
「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が 71.7%で最も多く、以下「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が 65.8%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 60.0%となっています。



(5) 今後取り組みたい活動

問 37 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

「趣味・教養に関する活動」が 59.2%で最も多く、以下「学習活動」が 17.5%、「スポーツ活動」が 15.8%となっています。

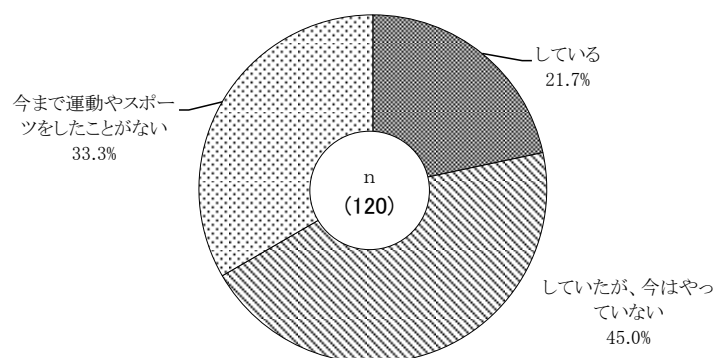


8. 運動やスポーツについて

(1) 運動やスポーツの実施状況

問 38 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

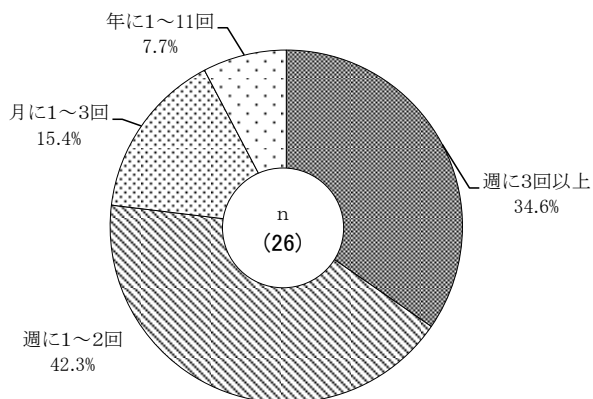
「している」が21.7%、「していたが、今はやっていない」が45.0%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は33.3%となっています。



(2) 運動やスポーツの実施頻度

問 39 【問 38 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に 1～2 回」が 42.3%で最も多く、次いで「週に 3 回以上」が 34.6%となっています。

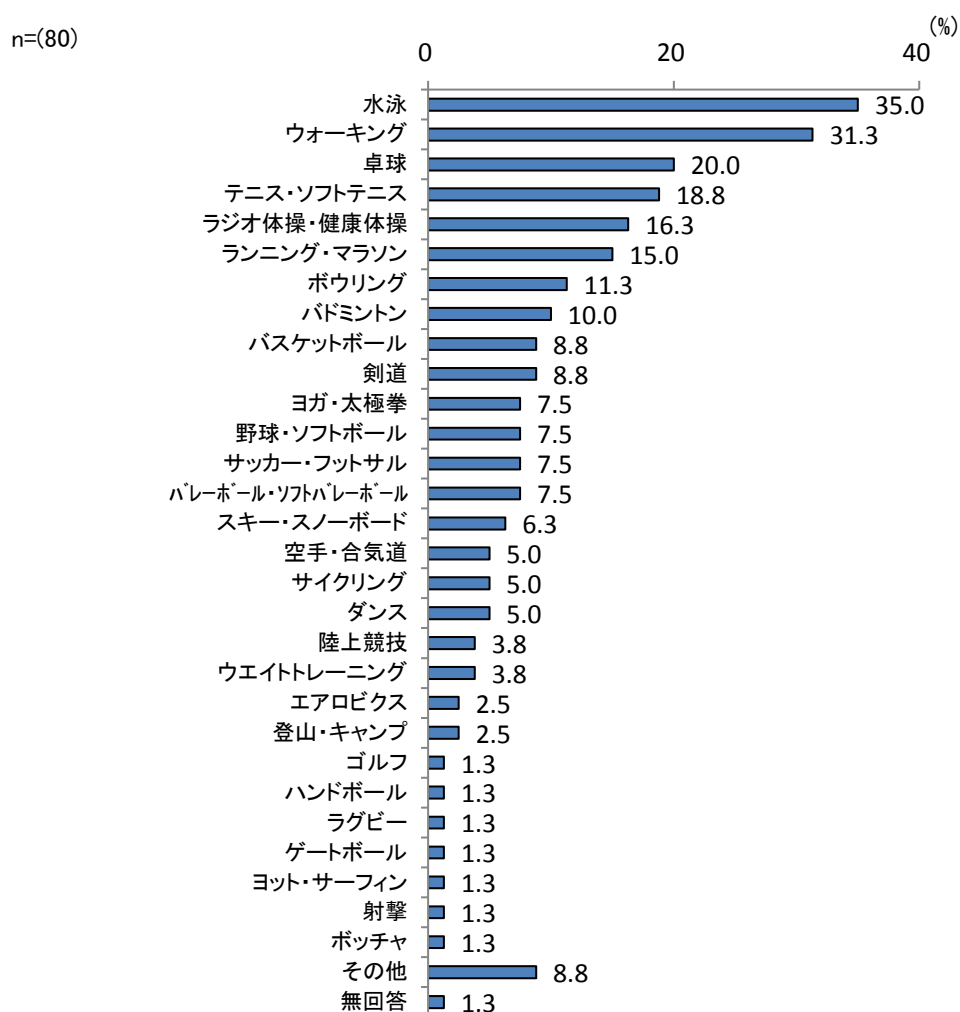


(3) 実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 40 【問 38 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

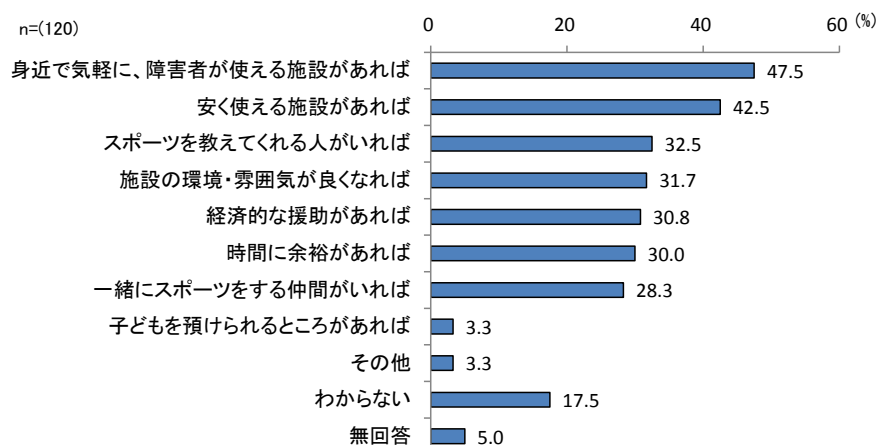
「水泳」が 35.0%で最も多く、以下「ウォーキング」が 31.3%、「卓球」が 20.0%、「テニス・ソフトテニス」が 18.8%となっています。



(4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 41 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が 47.5%で最も多く、以下「安く使える施設があれば」が 42.5%、「スポーツを教えてくれる人がいれば」が 32.5%となっています。

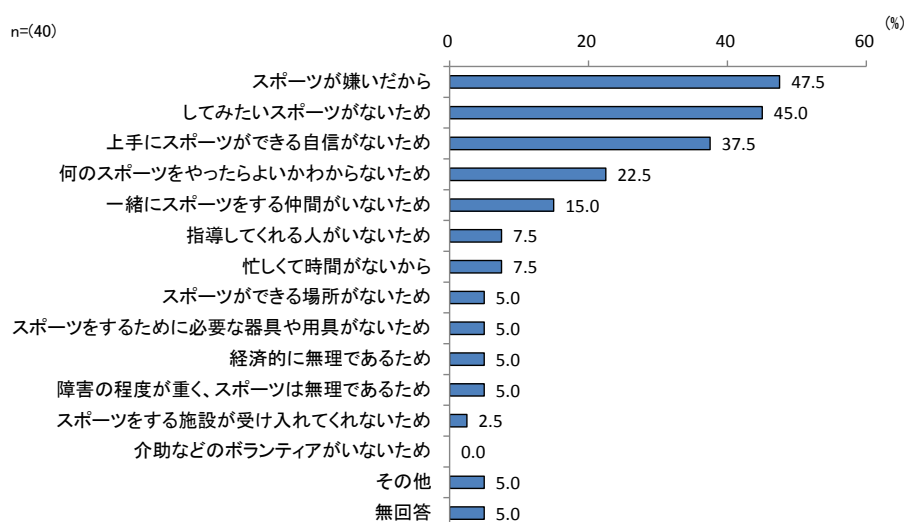


(5) スポーツをしない理由

問 42 【問 38 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「スポーツが嫌いだから」が 47.5%で最も多く、以下「してみたいスポーツがないため」が 45.0%、「上手にスポーツができる自信がないため」が 37.5%となっています。

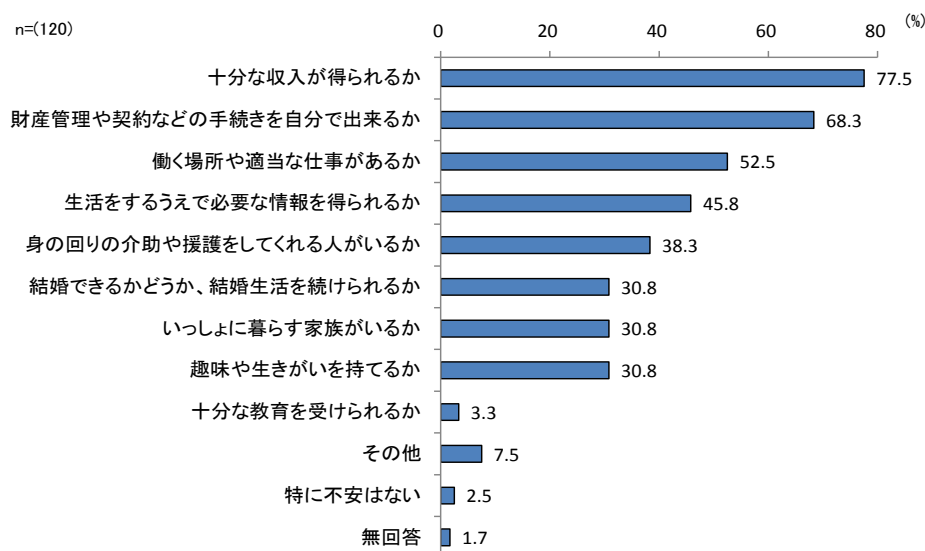


9. 将来について

(1) 親なき後の生活の不安

問 43 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(〇はいくつでも)

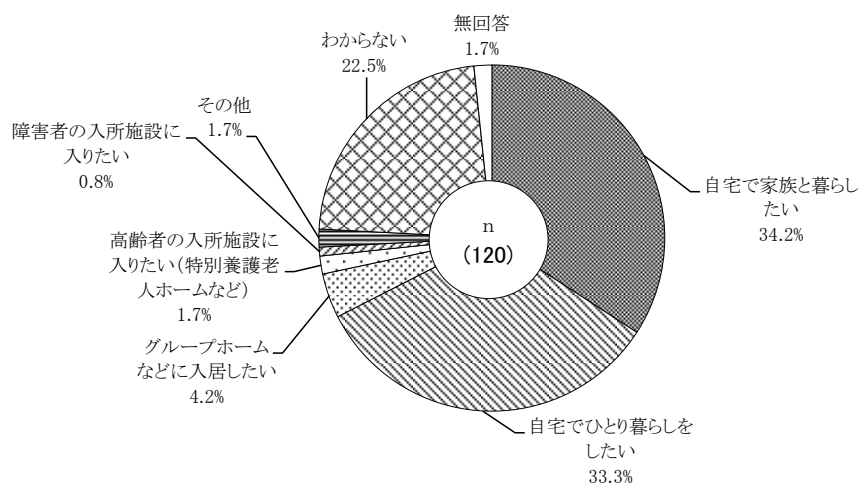
「十分な収入が得られるか」が 77.5%で最も多く、以下「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が 68.3%、「働く場所や適当な仕事があるか」が 52.5%、「生活するうえで必要な情報を得られるか」が 45.8%となっています。



(2) 将来の暮らし方の希望

問 44 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

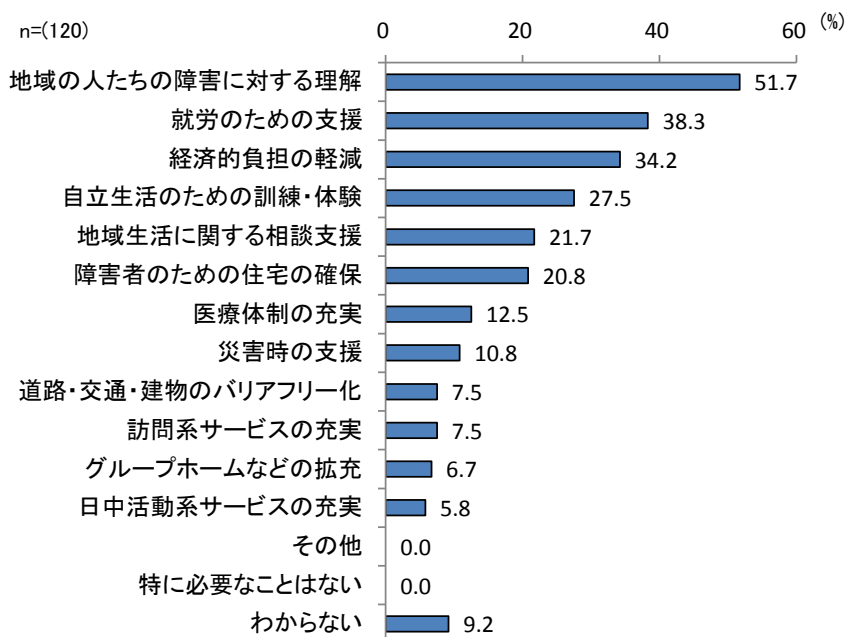
「自宅で家族と暮らしたい」が 34.2%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が 33.3%と、いずれも3割を超えています。



(3) 地域で生活するために必要なこと

問 45 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

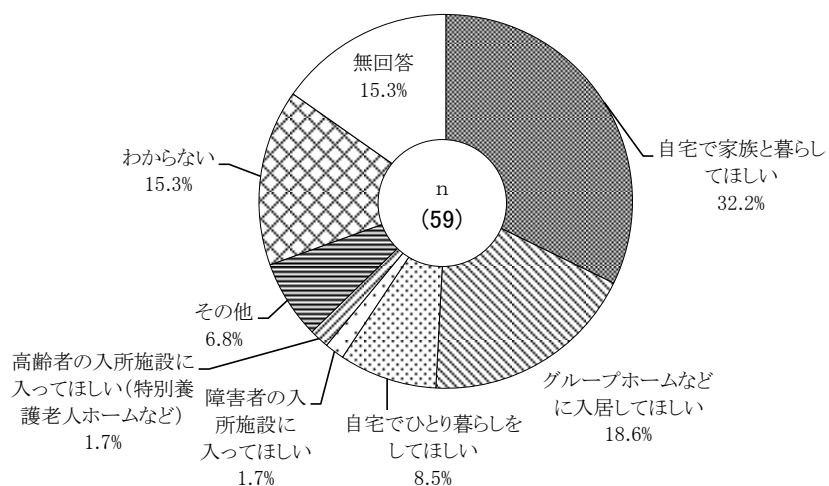
「地域の人たちの障害に対する理解」が 51.7%で最も多く、以下「就労のための支援」が 38.3%、「経済的負担の軽減」が 34.2%、「自立生活のための訓練・体験」が 27.5%となっています。



(4) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 46 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

「自宅で家族と暮らしてほしい」が 32.2%で最も多く、次いで「グループホームなどに入居してほしい」が 18.6%となっています。

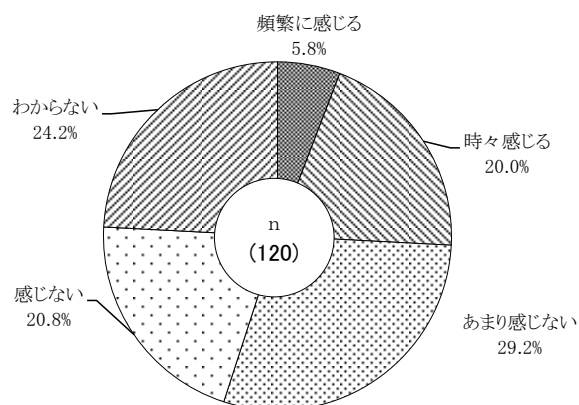


10. 障害のある人に対する理解度について

(1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 47 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありませんか。(○は1つ)

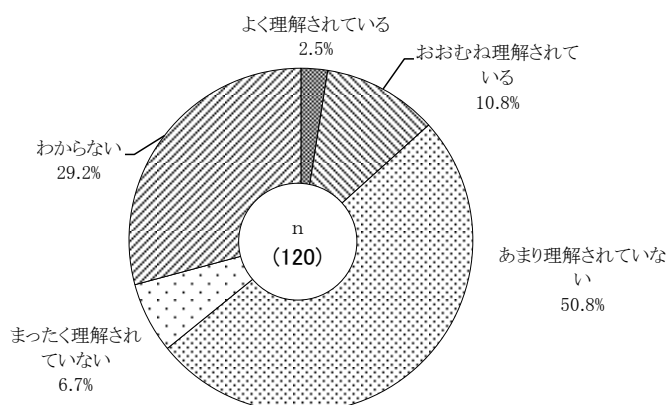
「頻繁に感じる」が5.8%、「時々感じる」が20.0%となっています。一方、「あまり感じない」は29.2%、「感じない」は20.8%となっています。



(2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 48 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

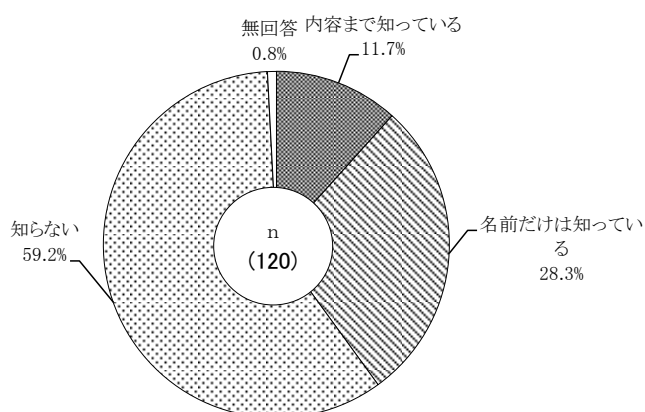
「よく理解されている」が2.5%、「おおむね理解されている」が10.8%となっています。一方、「あまり理解されていない」は50.8%、「まったく理解されていない」は6.7%となっています。



(3) 障害者差別解消法の認知

問 49 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

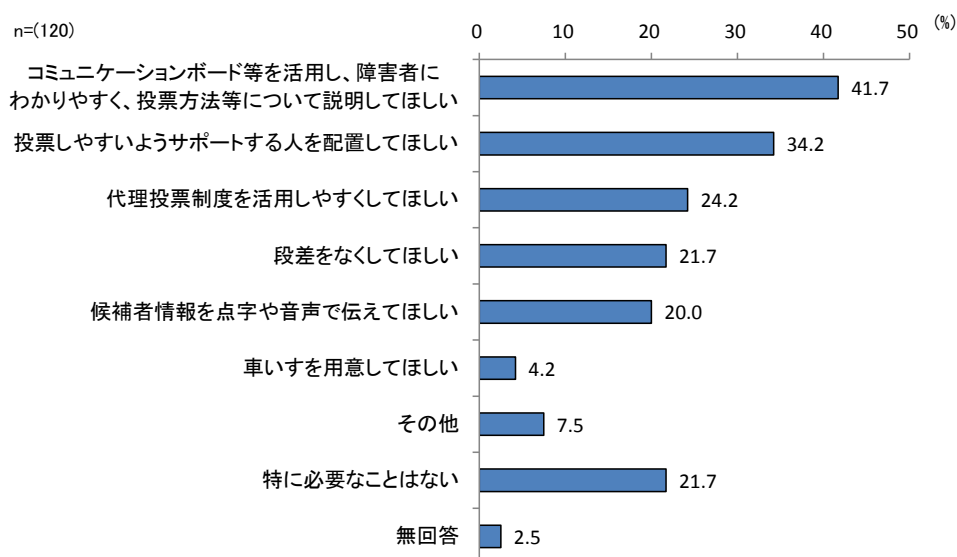
「内容まで知っている」が 11.7%、「名前だけは知っている」が 28.3%となっています。一方、「知らない」が 59.2%となっています。



(4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 50 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

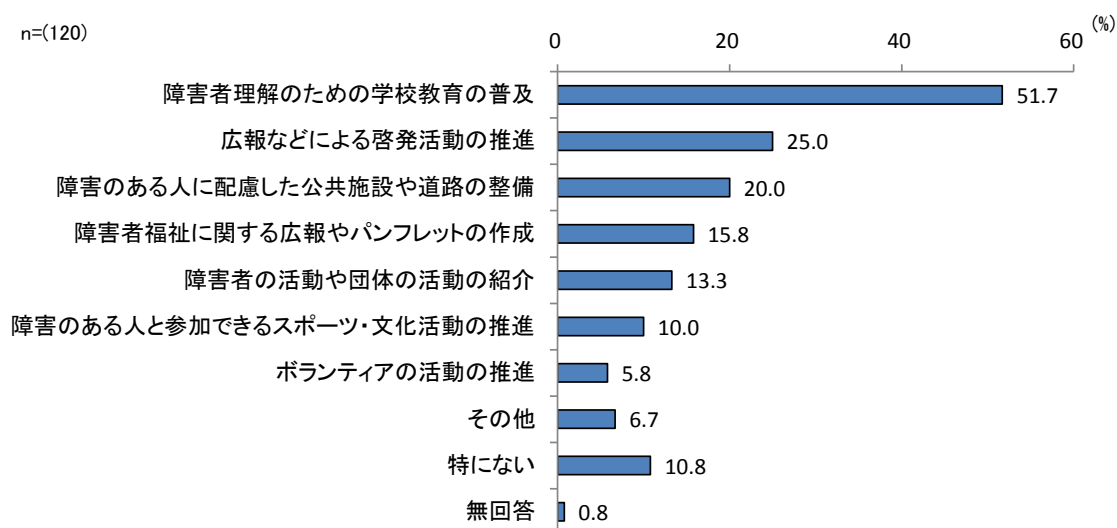
「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が 41.7%で最も多く、以下「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 34.2%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 24.2%となっています。



（５）障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 51 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（〇は2つまで）

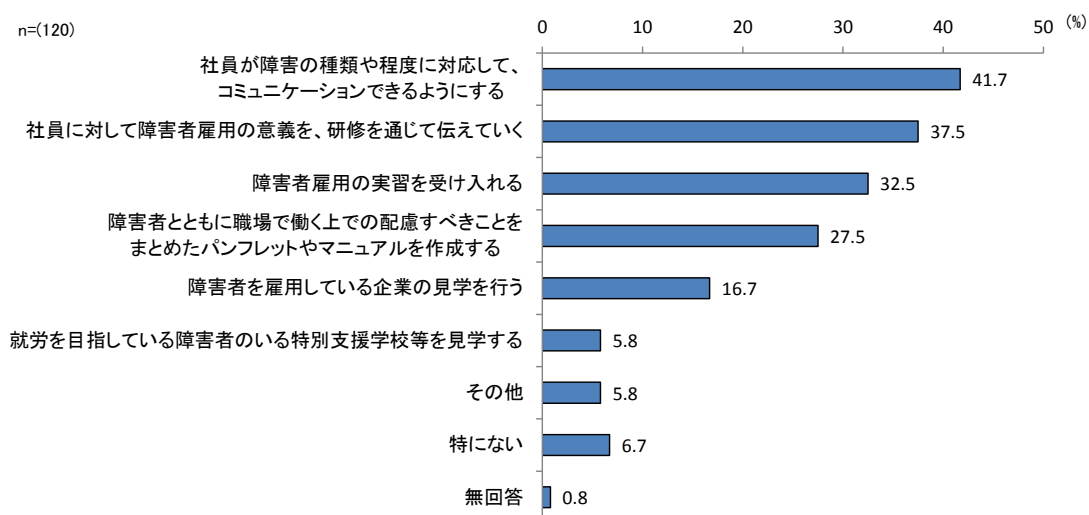
「障害者理解のための学校教育の普及」が 51.7%で最も多く、以下「広報などによる啓発活動の推進」が 25.0%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が 20.0%となっています。



（６）障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 52 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（〇は2つまで）

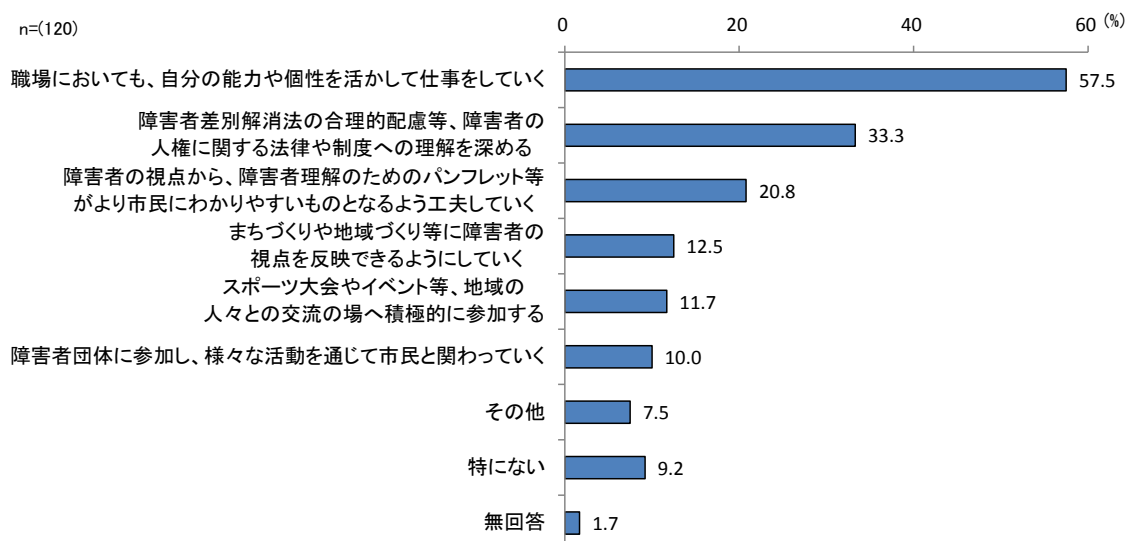
「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が 41.7%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が 37.5%、「障害者雇用の実習を受け入れる」が 32.5%となっています。



（７）障害者理解のため、障害者自身に取り組むべきこと

問 53 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。（○は2つまで）

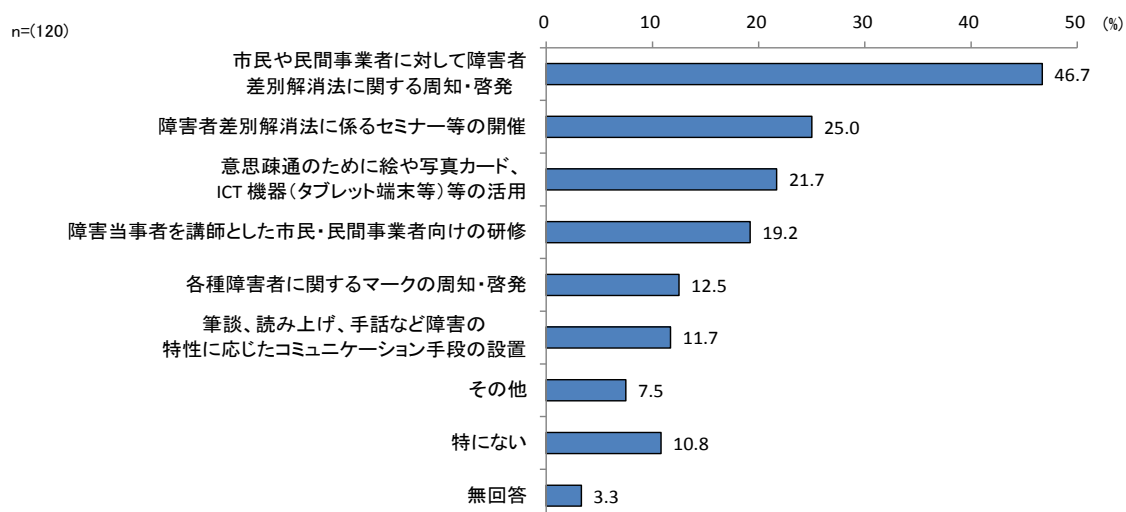
「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が 57.5%で最も多く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が 33.3%となっています。



（８）社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 54 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。（○は2つまで）

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 46.7%で最も多く、以下「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」が 25.0%、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用」が 21.7%となっています。



11. サービス利用について

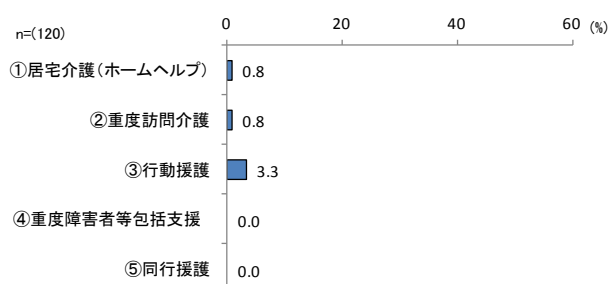
(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 55 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

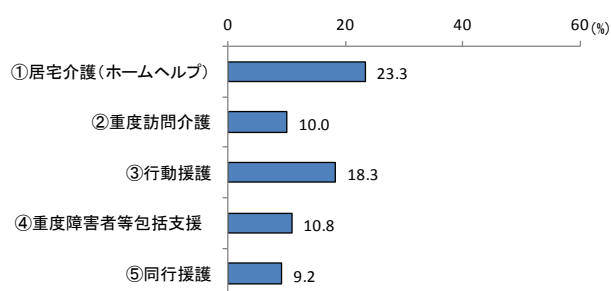
利用しているサービスをみると、「行動援護」が3.3%となっています。

利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が23.3%、「行動援護」が18.3%となっています。

A. 利用している割合



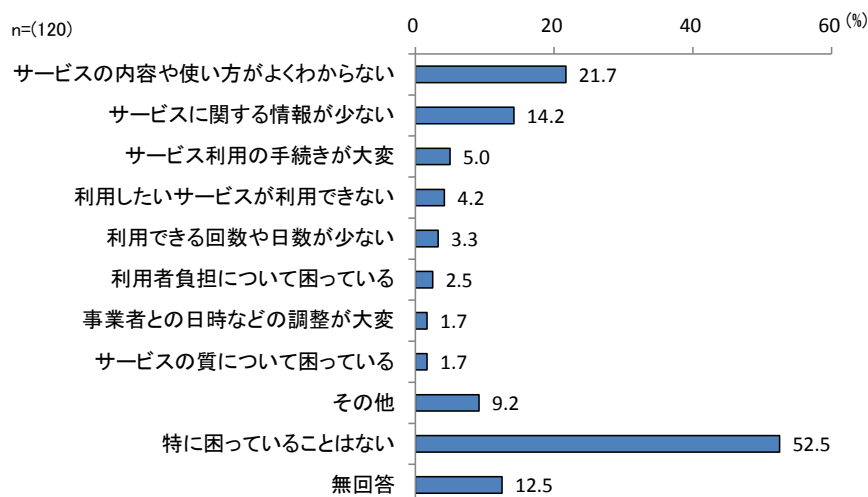
B. 利用したい割合



(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 56 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

訪問系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が21.7%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が14.2%となっています。



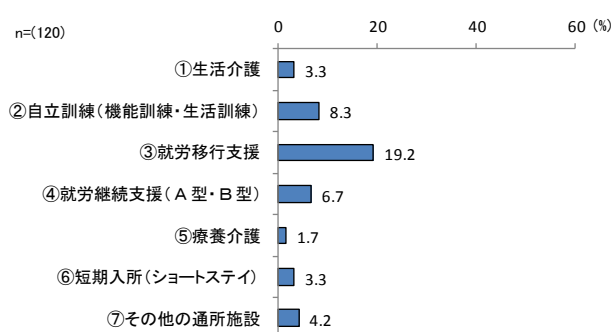
(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 57 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

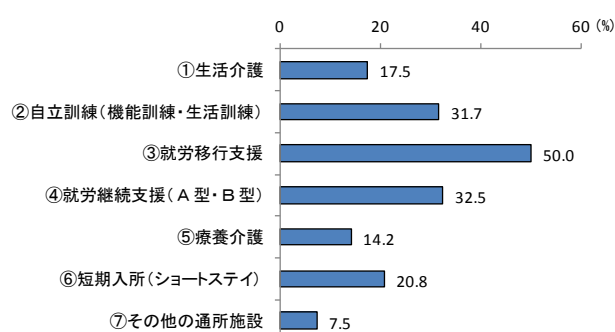
利用しているサービスをみると、「就労移行支援」が19.2%で最も多く、以下「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が8.3%、「就労継続支援（A型・B型）」が6.7%となっています。

利用したいサービスについてみると、「就労移行支援」が50.0%で最も多く、以下「就労継続支援（A型・B型）」が32.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が31.7%となっています。

A. 利用している割合



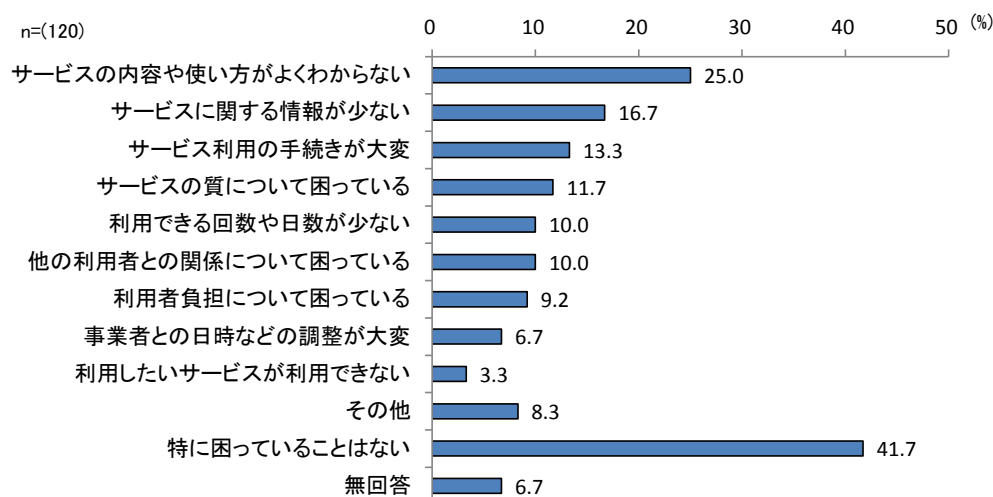
B. 利用したい割合



(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 58 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

日中活動系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が25.0%で最も多く、以下「サービスに関する情報が少ない」が16.7%、「サービス利用の手続きが大変」が13.3%となっています。



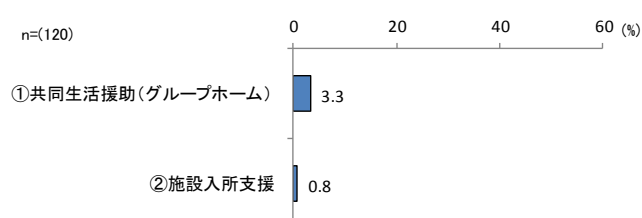
（５）居住系サービスの利用状況・利用意向

問 59 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

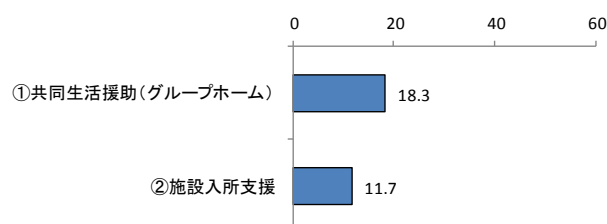
利用しているサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 3.3%、「施設入所支援」が 0.8% となっています。

利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 18.3%、「施設入所支援」が 11.7%となっています。

A. 利用している割合



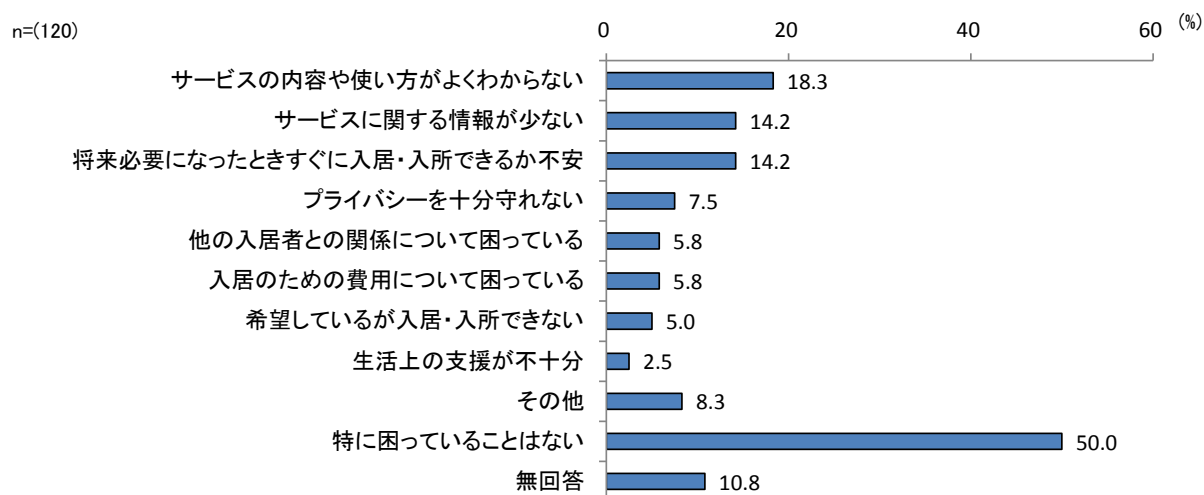
B. 利用したい割合



（６）居住系サービスを利用する上で困っていること

問 60 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

居住系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 18.3%で最も多く、以下「サービスに関する情報が少ない」、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が 14.2%となっています。



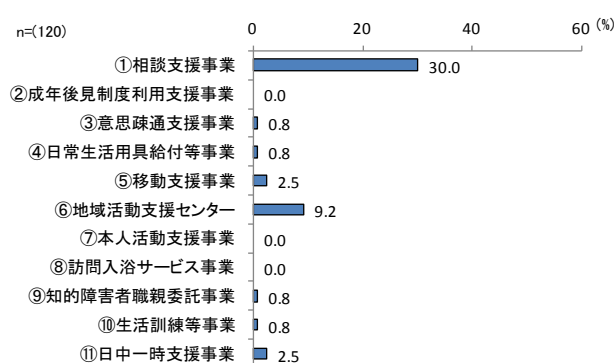
（７）地域生活支援事業の利用状況・利用意向

問 61 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

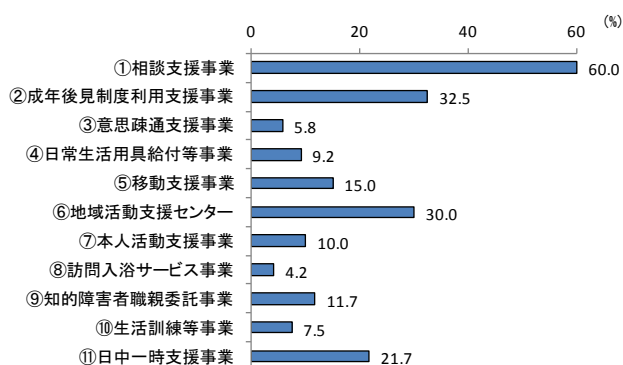
利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が30.0%で最も多く、次いで「地域活動支援センター」が9.2%となっています。

利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が60.0%で最も多く、以下「成年後見制度利用支援事業」が32.5%、「地域活動支援センター」が30.0%となっています。

A. 利用している割合



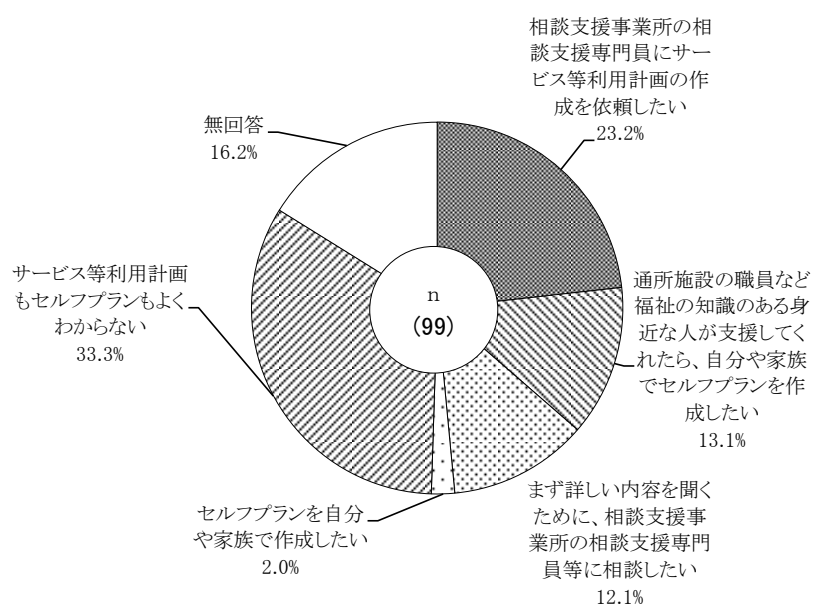
B. 利用したい割合



(8) サービス等利用計画の作成についての意向

問 62 【問 55、57、59、61 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

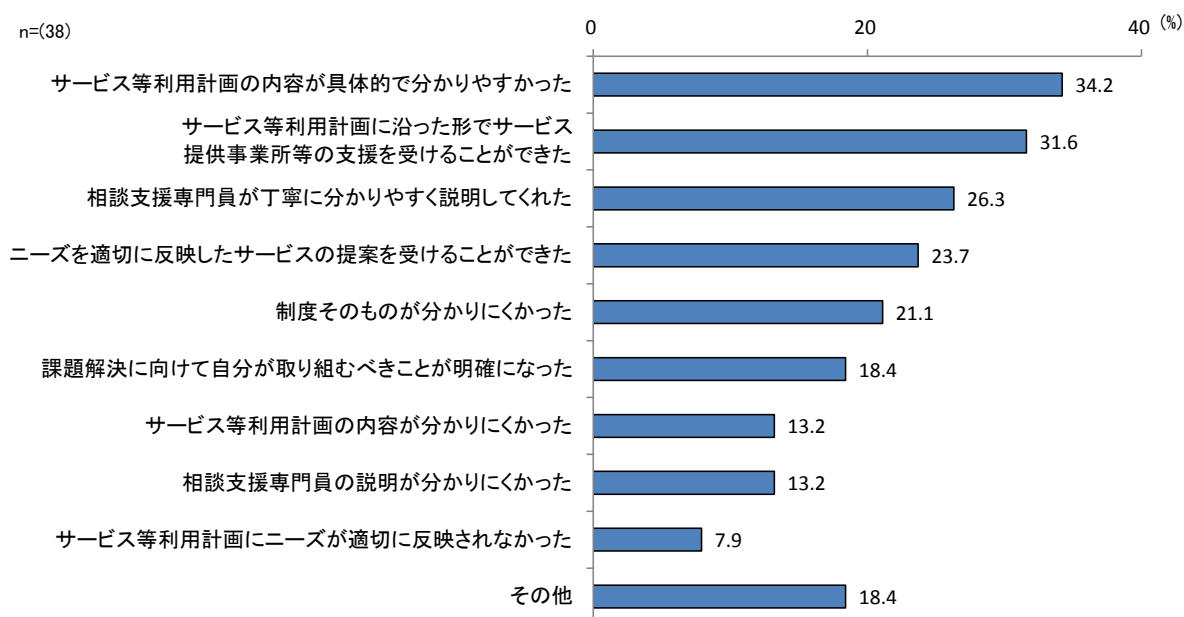
サービス等利用計画の作成についての意向については、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が23.2%で最も多く、以下、「通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい」が13.1%、「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が12.1%となっています。



(9) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 63 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

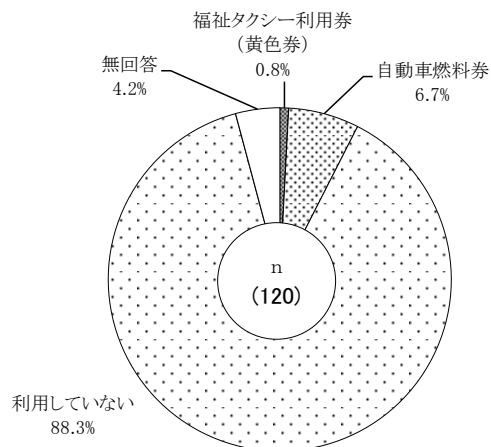
「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が 34.2%で最も多く、以下「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が31.6%、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が26.3%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が23.7%となっています。



(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 64 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

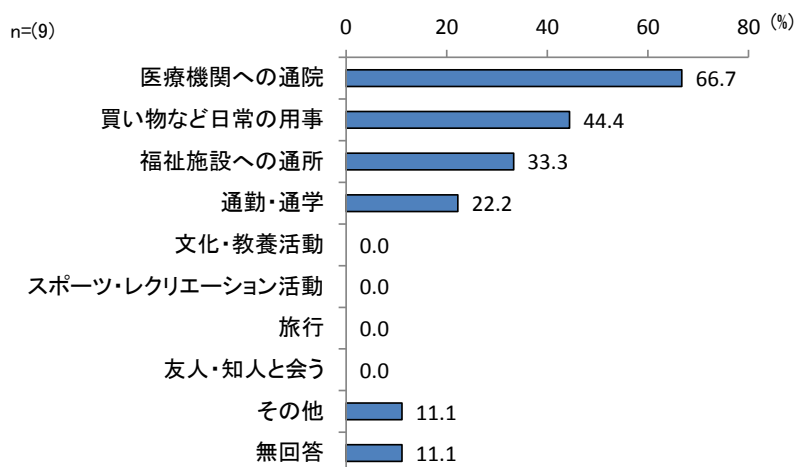
「自動車燃料券」が6.7%となっています。一方、「利用していない」は88.3%となっています。



(11) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 65 【問 64 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

「医療機関への通院」が66.7%で最も多く、次いで「買い物など日常の用事」が44.4%となっています。



(12) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 66 【64 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

（○は1 つ）

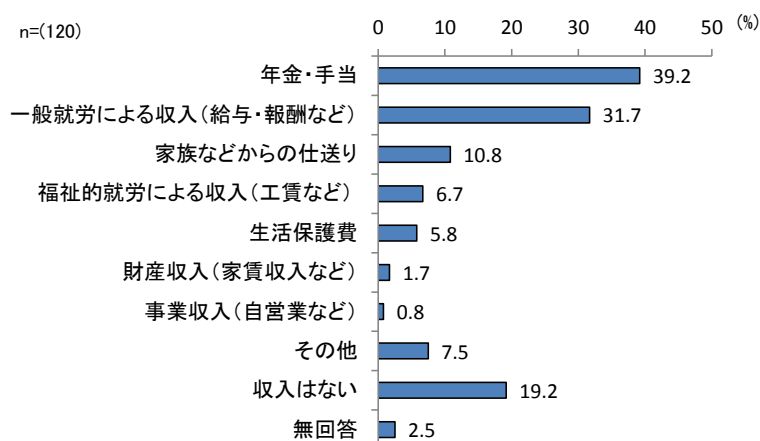
「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 100.0%となっています。

12. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問67 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

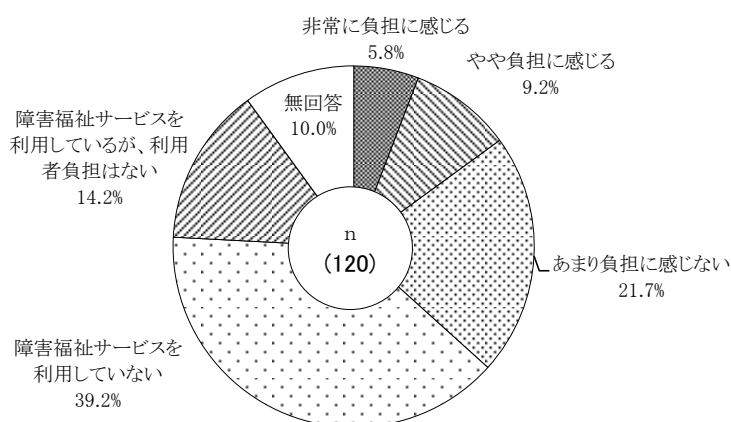
「年金・手当」が 39.2%で最も多く、次いで「一般就労による収入（給与・報酬など）」が 31.7%となっています。



(2) 障害福祉サービスの 利用者負担の負担感

問68 あなた（やご家族の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「非常に負担に感じる」が 5.8%、「やや負担に感じる」が 9.2%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が 21.7%となっています。



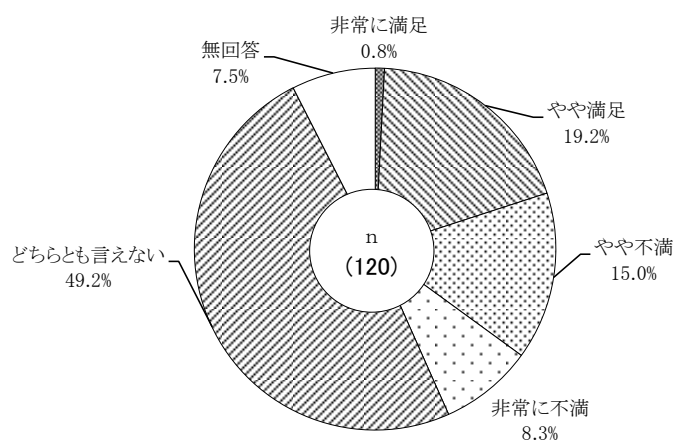
13. 市の障害者施策について

(1) 市の障害者施策についての満足感

問 69 あなた（やご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。
（○は1つ）

「非常に満足」が0.8%、「やや満足」が19.2%となっています。また、「どちらとも言えない」が49.2%を占めています。

一方、「やや不満」は15.0%、「非常に不満」は8.3%となっています。



14. 自由意見

問 70 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 43 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	17	39.5
2	医療・健康	1	2.3
3	生活環境	8	18.6
4	雇用・就労	5	11.6
5	将来について	0	0.0
6	経済事情・経済的支援	2	4.7
7	行政・制度	2	4.7
8	その他	8	18.6
計		43	100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

1. 福祉サービス

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
自分がどのような福祉サービスを受けられるのかわからない。福祉サービスは障害が重くない人は利用できるものがあるのかわからない。	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	20代	男性	本人
特定相談支援事業所が少なく、自分が利用できたところも職員2人で180ケースほどを担当しているとのことで、十分に相談の機会を持たず、こちらの配慮事項も理解されない。そのため日常生活や家族関係に関する悩みを相談する適切な場がなく、大変困っており、体調にも影響している。	広汎性発達障害	20代	男性	本人
日常や仕事の困りごとをすぐ相談にのってくれるサービス（支援センターを利用しているが現状は1ヶ月に2回）話し相手になって欲しい。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害	40代	女性	不明

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
同じような立場の介助者が地域で気軽に話しができるような場があったら案内してほしい。その場合、政治や宗教団体とは無縁のものであってほしい。また、介助の仕方や質を高められるよう勉強できる機会もあれば案内してほしい。(郵送で)	広汎性発達障害	20代	男性	本人

2. 医療・健康

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
「障害」は、まず可能な限りその障害を「解決」「取りのぞく」ことに向けて、行政を含め社会・国全体で取りくんでゆくべき事象であると考えている。米国で公共医療費の負担の「解決策」として「健康法」の社会的推進－社会全体としての健身の為の具体的方法(運動・食養)の実践を推進した結果、具体的成果をおさめたという。この例に倣い、医療健身業界を中心として「助けてあげる」福祉から「解決する」福祉へとカジを切るべきだと考える。そのために、「医療」も「健身」も「西洋」のそれのみならず、「東洋」のそれも、大いに利用できるよう、具体的な施策の早期実施を願っている。人間の心身も「お助け」よりも「カイゼン」「解決」の時代であると確信している。	広汎性発達障害	40代	男性	本人

3. 生活環境

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
親が亡くなったあと、手帳や年金の更新をひとりではできかとも不安。書類をそろえる、コピーを取る、窓口への交通はひとりではむずかしい。手帳の更新だけで3度出向かなければならない。駅からも区役所からも離れている。先天性の障害で一生変わらないのに1～2年で更新が必要というのは変。親が高齢の人だけでも永続認定にしてください。親が亡くなったあとは生活保護を受けなければならないかもしれず、それにはかなり安い家賃の家に住んでいないといけならしいので、今住居さがして悩んでいる。施設に入れば安心だけど発達障害者は感覚過敏があるので、人とは暮らせない。ぜひ障害者がひとり暮らししてもいい部屋をつくってほしい。かなり自立して生活できる人に場所提供するだけでいいのでお願いします。	広汎性発達障害	30代	女性	本人

4. 雇用・就労

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
現在就労支援の事業所に通っていますが、アルバイトが禁止もしくはアルバイトをしても少しだけと言われています。税金で通わせてもらっているのは分かりますが、上限をいくらまでと決めてでもアルバイトをしてもよいようにしてほしいです。本人の収入がないと本人も事業所をやめて(収入がないため)少しでも収入のあるアルバイトにはしてしまいます。就労支援の事業所に行ける年数を増やしてほしいです。	広汎性発達障害 アスペルガー症候群	20代	女性	家族
障害に対する理解を職場でもっとしてほしい。賃金が安くて生活ができない。障害者割引も、もっといろんなものに適用してほしい。自殺する人がどんどん増える。	自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 学習障害	20代	女性	本人

6. 経済事情・経済的支援

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
障害者枠で働きました。給料は悪くないし楽しく働いたりすることもできましたが、一応障害者ですが仕事をする能力が高いのもっと給料がもらえたり活やくできる職場はないかなと思います(月給手どり16万、ボーナス15万くらいです)。悪い金額ではないですが将来が不安です。契約社員ばかりで正社員がありません。	広汎性発達障害	30代	女性	本人
両親も還暦を過ぎて自分も三十路に達したものの、自分の収入は自立できる程ではなく、増えるあてもない。職場では良くしてもらっているが、しょせんパートの上障害もあり、今以上の仕事を任せてもらえる見込みはない。転職も考えてはいるが上手く行くとはいえない。このままだと数年内に経済的に破綻して現在の生活は続けられなくなる。このような状況の為、収入が絶対的に不足した時どうしたら良いのか、何か状況の改善に繋がるような事はないか相談したいが、どこに相談して良いか判らない。	アスペルガー症候群 自閉症・自閉的傾向	30代	男性	本人

7. 行政・制度

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
公共料金について。①バス運賃の割引 現行では、手帳呈示で半額となっているが、横浜市と同様に数千円の支払いで定期券のように利用できるとありがたいです。②千葉モノレール運賃の割引 現行では、一部を除きIC乗車券利用時の割引がないので、全員を対象にIC乗車券利用時でも割引可能になるとありがたい。③JR旅客運賃の割引 現行では、精神障害が対象外となっているので、今後対象になるとありがたい。上記②、③は障害者差別解消法に基づき、一律とみなしてほしいです。	広汎性発達障害	40代	男性	本人
市発行の「障害者福祉のあんない」は、手帳の所持者全員に郵送で配布すべきだと思います。年度が変わる度、市役所や保健福祉センターに自力で歩くor車いすで行って取りにいける人(私は自力)はいいのですが、障害が重い人や介助者の仕事の都合ですぐに取りにいけない人もいますので、そこは一考願います。	広汎性発達障害	30代	男性	本人

8. その他

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
漢字にふりがなをつけるだけでは解説がわかりづらいので、説明をもっとわかりやすく表記してほしいです。	アスペルガー症候群	30代	女性	本人